

2022年度

入 学 者 選 拔 要 項

教 育 学 部
法 学 部
経 済 学 部
医 学 部
創 造 工 学 部
農 学 部

2021年6月
《11月更新版》

香 川 大 学

大学入学共通テスト
1月15日(土)・16日(日)

香川大学入学選抜試験日程(更新版)

一般選抜		特別選抜						
大学入学共通テストを課す		大学入学共通テストを免除する						
区分	前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す 学校推薦型選抜)	学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを 免除する学校推薦型選抜)	総合型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを免除する総合型選抜)	社会人選抜 (夜間主コース)	私費外国人 留学生選抜	
学部等	教育学部 法学部 経済学部 医学部 創造工学部	教育学部 (中学校教育コース・ 中学校教育コース) 法学部 経済学部 創造工学部	医学部 (医学科)	教育学部 (幼児教育コース・ 小学校教育コース) 法学部 経済学部	医学部 (看護学科)	創造工学部	農学部 法学部 経済学部	法学部 経済学部 医学部 創造工学部 農学部
出願期間	1月24日(月)～2月4日(金)		1月17日(月)～ 1月21日(金)	11月1日(水)～ 11月8日(月)	9月1日(水)～ 9月7日(火)	9月1日(水)～ 9月7日(火)	12月6日(月)～ 12月10日(金)	
選抜期日	2月25日(金) 医学科のみ 2月25日(金)・26日(土) ※注1 ※注2	3月12日(土) ※注1	実施しない	11月20日(土) ※注4	10月2日(土) (第2次選抜) ※注5	10月2日(土) (第2次選抜) ※注6	10月23日(土) (第2次選抜) ※注7	10月23日(土) (第2次選抜) ※注8
合格者発表	3月6日(日)	3月22日(火)	2月15日(火)	12月6日(月)	第1次選抜 9月24日(金) 最終合格者 11月1日(月)	第1次選抜 9月24日(金) 最終合格者 11月1日(月)	第1次選抜 10月1日(金) 最終合格者 11月1日(月)	第1次選抜 10月8日(金) 最終合格者 11月1日(月)
入学手続期限	3月15日(火) まで	3月26日(土) まで	2月21日(月)まで		11月25日(木) まで	11月16日(火) まで	11月24日(水) まで	11月15日(月) まで

※注1 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合等で一般選抜を欠席して追試験の受験を希望する者は、追試験出願の申請を行ってください。詳細は11月上旬に公表予定の「2022年度一般選抜(前期日程・後期日程)学生募集要項」を参照してください。

※注2 医学部(臨床心理学科)の試験日程は受験者数によっては翌日にわたることがあります。

※注3 医学部(臨床心理学科)の追試験は、受験者数によっては翌日にわたることがあります。

※注4 面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。

※注5 教育学部 総合型選抜Ⅰの第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注6 医学部(看護学科)ナース・プロフェッショナル育成入試(総合型選抜Ⅰ)の第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注7 創造工学部 総合型選抜Ⅰの第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注8 農学部 総合型選抜Ⅰの第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注1 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合等で一般選抜を欠席して追試験の受験を希望する者は、追試験出願の申請を行ってください。詳細は11月上旬に公表予定の「2022年度一般選抜(前期日程・後期日程)学生募集要項」を参照してください。

※注2 医学部(臨床心理学科)の試験日程は受験者数によっては翌日にわたることがあります。

※注3 医学部(臨床心理学科)の追試験は、受験者数によっては翌日にわたることがあります。

※注4 面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。

※注5 教育学部 総合型選抜Ⅰの第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注6 医学部(看護学科)ナース・プロフェッショナル育成入試(総合型選抜Ⅰ)の第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注7 創造工学部 総合型選抜Ⅰの第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

※注8 農学部 総合型選抜Ⅰの第1次選抜は、提出書類による選抜を行います。

詳細は8月下旬に
公表予定の
「2022年度私費
外国人留学生選抜
学生募集要項」を
参照してくださ
い。

学生募集要項・出願方法について

1. 学生募集要項

【一般選抜, 学校推薦型選抜, 総合型選抜】

紙媒体の冊子は配布しておりません。本学ホームページからPDFファイルをダウンロードしてください。

学生募集要項 (PDF) 掲載箇所

https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/

【社会人選抜, 私費外国人留学生選抜】

紙媒体の学生募集要項を配布します。請求方法については本学ホームページより確認してください。

入試情報 > 資料請求

<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/catalogs/>

※各入試の学生募集要項の公表時期については81ページを確認してください。

2. 出願方法

【一般選抜, 学校推薦型選抜, 総合型選抜】

出願方法はインターネット出願です。詳細は各入試の学生募集要項を確認してください。

【社会人選抜, 私費外国人留学生選抜】

学生募集要項 (冊子) に添付された出願書類等が必要ですので、出願予定の方は学生募集要項 (冊子) を請求してください。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う 本学入学者選抜の対応について

○活動報告、調査書等について

新型コロナウイルス感染症対策の影響により、多くの各種スポーツ・文化関係の行事、大会、資格・検定試験等が中止・延期または規模縮小等となっています。そのため、それらに参加できず、結果を活動報告や調査書等に記載できない場合は、志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスやそれらに代わる目標に向けた努力等を記載するようにしてください。

なお、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格検定試験等の成果を評価する際には、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。また、高等学校等の臨時休業の実施の結果、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないことをもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

○一般選抜追試験受験者について

新型コロナウイルス感染症に罹患した場合等で一般選抜を欠席して追試験の受験を希望する者は、追試験出願の申請を行ってください。詳細は11月上旬に公表予定の「2022年度一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項」を参照してください。

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、入学者選抜試験の実施等が変更となる場合があります。

変更のある場合は、香川大学ホームページ (<https://www.kagawa-u.ac.jp/>)にてお知らせしますので、出願前に最新の情報を必ずご確認ください。

目 次

医学部医学科における入学定員及び募集人員の変更について	1
創造工学部における募集人員の目安の変更について	2
I 入学者の受入方針	3
II 入学定員	26
III 入学者選抜方法等（一般選抜、特別選抜）	28
IV 一般選抜（前期日程・後期日程）	
1. 出願資格	32
2. 出願上の注意事項	33
3. 選抜方法	34
V 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）	
1. 推薦要件	57
2. 出願上の注意事項	58
3. 選抜方法	59
VI 学校推薦型選抜 II（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）	
1. 推薦要件	62
2. 出願上の注意事項	65
3. 選抜方法	65
VII 総合型選抜 I（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）	
【教育学部】総合型選抜 I	70
【医学部（看護学科）】香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試	71
【創造工学部】総合型選抜 I	72
【農学部】総合型選抜 I	74
VIII 社会人選抜（夜間主コース）	75
IX 私費外国人留学生選抜	78
X 障害等のある入学志願者との事前相談について	79
XI 出願資格審査について	80
XII 2022年度香川大学学生募集要項の公表時期及び請求方法	81
XIII 入試情報サービス	82
XIV 2021年度香川大学入学者選抜試験実施結果	83
XV 2021年度一般選抜合格者得点状況一覧	84
XVI 学外試験場について	85
香川大学試験場案内図	86
香川大学建物配置図	87
香川大学関西地区試験場案内図	90
香川大学関西地区試験場建物配置図	91
お知らせ	92

医学部医学科における入学定員及び募集人員の変更について

2022年度入学者選抜から、医学部医学科の入学定員並びに医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱ及び一般選抜（前期日程）の募集人員を以下のとおり変更します（「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月15日閣議決定）等に基づく暫定的な医学部入学定員の増加措置が2021年度で終了したため）。

また「地域医療推進枠」、「県民医療推進枠」及び「地域枠」の名称を以下のとおり変更します。

【変更前】

学 部	学 科	入学定員 (人)	募 集 人 員 (人)	
			一 般 選 抜	特 別 選 抜
			前期日程	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課する) 学校推薦型選抜
医学部	医学科	109	79 (地域医療推進枠9人を含む)	30 (県民医療推進枠5人を含む) (地域枠13人程度を含む)



【変更後】

学 部	学 科	入学定員 (人)	募 集 人 員 (人)	
			一 般 選 抜	特 別 選 抜
			前期日程	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課する) 学校推薦型選抜
医学部	医学科	95	70 (地域枠 (一般) は未定)	25 (地域枠 (学校推薦) は未定) (県内高校出身枠13人程度を含む)

なお、2022年度医学部医学科の入学定員が109人、医学科の一般選抜（前期日程）の募集人員が79人（「地域枠（一般）」9人を含む。）、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員が30人（「地域枠（学校推薦）」5人を含む。）となるよう調整中です。

人数については予定であり、変更があり得ます。確定次第、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）ですみやかに公表します。

創造工学部における募集人員の目安の変更について

2022年度入学者選抜から、創造工学部の募集人員の目安を以下のとおり変更します。

【変更前】

コース	募集人員 の目安	前期 Aタイプ	前期 Bタイプ	後期	学校 推薦型Ⅱ	総合型Ⅰ
造形・メディアデザイン	45	13	12	5	5	10
建築・都市環境	60	33	0	6	9	12
防災・危機管理	25	7	5	3	5	5
情報システム・セキュリティ	40	24	0	5	5	6
情報通信	40	24	0	6	4	6
機械システム	60	36	0	12	9	3
先端マテリアル科学	60	30	0	12	9	9
合計	330	167	17	49	46	51



【変更後】

コース	募集人員 の目安	前期 Aタイプ	前期 Bタイプ	後期	学校 推薦型Ⅱ	総合型Ⅰ
造形・メディアデザイン	45	13	12	5	5	10
建築・都市環境	60	33	0	<u>12</u>	9	<u>6</u>
防災・危機管理	25	7	<u>6</u>	3	<u>4</u>	5
情報システム・セキュリティ	40	<u>22</u>	0	5	<u>7</u>	6
情報通信	40	24	0	6	4	6
機械システム	60	36	0	12	9	3
先端マテリアル科学	60	30	0	12	9	9
合計	330	<u>165</u>	<u>18</u>	<u>55</u>	<u>47</u>	<u>45</u>

(注) 2022年度入学者選抜から変更する箇所に下線を引いています。

I 入学者の受入方針

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部、学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教育学部

1. 教育理念

香川大学教育学部は、学校教員をはじめ教育者を養成し、広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には、急激な社会の変化の中で、教科に関する新しい学力をどのようにつけるか、子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど、人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化、情報化社会の進展、切実さを増す環境問題、多文化社会における共生の在り方などの問題は、生涯にわたる教育の必要性和新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように、人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に、教育に関する総合的な教育研究を行い、教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

2. 教育目標

教育学部では、その教育理念に基づき、豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる、専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

3. 教育内容

教育学部では、学部の教育目標に沿った4年間一貫教育を行っています。

1年次は各コースに所属し、全学共通科目と学部共通科目を中心に学び、教職に関する基礎とともに、自分の興味や関心を探求し視野を広げます。2年次以降は、より実践的で専門的な授業科目を履修していきます（小学校教育コース及び中学校教育コースでは、2年進級時に所属する領域等を決定します）。特に3年次以降の教育実習を中心として、教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で、それぞれの課題を発見し、解決する能力の育成を目指しています。4年次の卒業研究では、それぞれの具体的な課題に取り組み、専門分野の総合的学力を高めます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

*高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

*学校教育において、問題解決するための論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

*多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

*主体的に多様な他者とかがわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

*学校教育に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力
*様々な課題にチャレンジする積極性を持ち、経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

*教育者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど、子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者として他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力が必要とされるので、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テスト5教科7科目又は6教科7科目（理科の選択科目によっては5教科8科目又は6教科8科目）を課しています。

*前期日程

幼児教育コース及び小学校教育コースでは、学力試験（国語、英語、数学、理科）又は実技試験（音楽、美術、保健体育）から1科目選択し、得意な教科に関する達成度（知識・技能、及び思考力・判断力・表現力）を評価します。

中学校教育コースについては、受験教科によってA系（国語又は英語）、B系（数学又は理科）、C系（実技：音楽、美術又は保健体育）の三つの系を設けて教科の専門性（知識・技能、及び思考力・判断力・表現力）をより重視して評価します。

*後期日程

いずれのコースとも小論文が課せられ、大学生に求められる資質としての論述の能力（理解力、思考力・判断力・表現力など）を総合的に評価します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

大学入学共通テストは課さず、小論文及び面接を課すとともに、志望する区分によっては口頭試問を行います。小論文は大学生に求められる資質としての論述の能力（理解力、思考力・判断力・表現力など）を総合的に評価します。面接・調査書等においては大学生としての資質、創造的な探求心や勉学意欲、人間性（倫理観・社会的責任など）、学校教員をめざす者としての適性（主体性・多様性・協働性など）を評価します。口頭試問においては基礎

的な知識や技能を評価します。

***総合型選抜 I (大学入学共通テストを免除する総合型選抜)**

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、知識・技能を評価します。第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して、グループ・ディスカッション（リフレクション・レポートを含む）及び面接・調査書評価を全員に課します。さらに口頭試問もしくは実技試験のいずれかを課します。グループ・ディスカッションは、課題に対する発想力、想像力、論理的思考力、教職に対する意欲等を評価します。面接・調査書等評価は、関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、知識・技能、倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。口頭試問もしくは実技試験においては、各教科の基礎的な知識や技能を評価します。これらを総合的に判断し、最終の合格者を決定します。

法 学 部

1. 教育理念

香川大学法学部は、四国で唯一の国立大学法学部であり、高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし、全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに、法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

夜間主コースにおいては、社会人としての幅広い判断力や、専門実務能力である政策遂行能力を育成します。

2. 教育目標

香川大学法学部では、その教育理念に基づき、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民、法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち、世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し、その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

3. 教育内容

このような教育目的を達成するために、基礎から比較的高度な内容への段階的履修、ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育、希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース、公共政策コース及び企業法務コースの3コース制による教育を実施しています。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考える能力

* 紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

*文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

*相手の意見からも学び、議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

*主体的に多様な他者とかがわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

*正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

*現代社会の動きに常に関心を持ち、書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

*社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し、自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入学を希望する人は、入学後の教育に対応できる素質を養うため、高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは、大学教育の前提となるものです。まずは国際的な視野とコミュニケーション能力を重視することから、英語及び国語の基礎的な能力を身につけておく必要があります。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史あるいは公民など社会科の科目もしっかり学んでください。さらに法学・政治学に必要な論理的思考力は数学・理科の学習によって培われます。万遍なく学んでください。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

*前期日程

大学入学共通テストでは、基礎的な学力をみるために5教科7科目又は6教科7科目（理科の選択科目によっては5教科8科目又は6教科8科目）を課しています。学力試験では、論理的思考力を測ることのできる数学又は国際的コミュニケーション能力を測ることのできる英語を課します。

*後期日程

大学入学共通テストでは、基礎的な学力をみるために5教科7科目又は6教科7科目（理科の選択科目によっては5教科8科目又は6教科8科目）を課しています。個別学力検査では、高い論理的思考力と文章によるコミュニケーション能力を持った学生を選抜するため小論文試験を課します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

論理的思考力とコミュニケーション能力をみるため小論文と面接を行います。特に、面接はグループ・ディスカッション方式で、現代社会に対する鋭い問題意識、創造的な思考力、的確な表現力と説得力を重視します。

* 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

基礎学力に加えて現代社会に対する関心をみるため、大学入学共通テストの国語に加え、論理的思考力を測ることのできる数学又は国際的コミュニケーション能力を測ることのできる外国語のいずれかにより評価します。また、調査書の審査では、地歴・公民の成績を重視し、特記事項により主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

* 社会人選抜（夜間主コース）

面接と小論文を通じて、「入学者に求める学力・能力・資質等」を判断し、面接ではさらに法学部の志望動機や働きながら勉学する意欲を確認します。

* 私費外国人留学生選抜

面接と小論文（日本語）により、法学部で勉学するために必要な日本語のコミュニケーション能力と法律・政治の素養をみます。面接では志望動機や勉学する意欲を確認します。

経済学部

1. 教育理念

香川大学経済学部は、経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え、国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

2. 教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から、自ら課題を発見し、それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は、柔軟な視野にたち、コミュニケーション能力を備え、社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信する力を身につけます。

3. 教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は、主に1年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法、他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は、学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は、課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり、各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として、3年次履修の「演習」及び4年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また2年次後期からは、各学生は自分の興味・関心・適性、将来の進路等を考慮して、以下の5コースのうちからどれか一つを選択し、より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で、人びとの幸福の達成に向けて、経済のメカニズムを分析し、日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには、提言を行うための課題探求・解決力、コミュニケーション力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員、自治体・企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

(学修する内容と身に付ける力)

財務会計、管理会計、会計監査等の会計学分野について、主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また、金融論、経営財務、保険論及び財政学の分野について、政府の政策や企業行動を対象として学修することで、ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁(国税庁など)

【経営・イノベーションコース】

(学修する内容と身に付ける力)

戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる幅広い内容を学修します。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探求・解決能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

民間企業(製造、卸・小売業)、官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務、起業

【観光・地域振興コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学・経営学をベースに、観光学、地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、観光に必要な調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員（観光振興、地域振興）、公益法人等（JA、生協、商工会議所）、観光業、地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

国内外の企業（国際部門など）、公益法人（JICAなど）、NGO、新聞社などのメディア

夜間主コースの学生は、1年次から卒業まで全員が以下の「総合経済コース」に所属します。

【総合経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済（経営）学分野を、教育内容の基礎として、経済（経営）学の多様な領域を幅広く学修します。さらに、法学関係科目の学修を可能とします。広汎な諸分野を学修することで、実務的必要性に対応する能力を身につけます。

(卒業後の進路等)

在学時に就業している企業・団体における昇任や専門性を生かせる職種への配置換え、専門性を生かした他業種、他企業・団体への転職、専門性を生かした起業、社会人向大学院への進学

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

①知識・技能

*経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び、研究活動を実践するための、高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

*経済・社会におけるさまざまな現象において、解決を必要としている問題を発見・探求し、自分の考えを論理的にまとめて、他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

*情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において、必要な情報を収集・分析し、自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

*柔軟な視野にたつて社会と積極的にかかわり、コミュニケーション能力を備え、多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

*経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち、従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

*グローバル化する社会において、地域に根ざしながら世界と連携し共生するために、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め、論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり、読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて、国際的なコミュニケーション能力を養ったり、教養を育んだり、実務的な処理能力を高めたりするために、英語検定、簿記検定、漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

*前期日程

知識・技能・理解能力を重視することから、大学入学共通テスト5教科（あるいは6教科）の得点を評価します。特に入学後の学習・研究に必要な基礎的学力を評価するため、国語・数学・外国語のうち最も高い点数の教科を傾斜配点します。さらに記述式の英語の試験を行い、思考力・判断力・表現力や国際的なコミュニケーション能力を評価します。

*後期日程

知識・技能・理解能力を重視することから、大学入学共通テスト5教科（あるいは6教科）の得点を評価します。さらに小論文試験を行い、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

高等学校で一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、明確な経済学部への志向と勉学意欲を持っている人を対象に、小論文試験及び面接を行い、調査書の特記事項を評価します。小論文では、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面

接では、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性、経済・社会に対する関心・意欲・態度や倫理性・社会性を評価します。特に志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。さらに調査書の特記事項で、主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養・実務的な処理能力などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***学校推薦型選抜ⅡA（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）**

高等学校で一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、かつ人物的に優れた人を対象に、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の3教科4科目と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは、基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では、主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養・実務的な処理能力などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***学校推薦型選抜ⅡB（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）**

高等学校の専門教育を主とする学科で、一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、かつ人物的に優れた人を対象に、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の3教科4科目と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは、基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では、主体性・多様性・協働性やコミュニケーション能力・教養・実務的な処理能力などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***社会人選抜（夜間主コース）**

夜間主学生として、就業しながら勉学することに対する明確な動機や意欲を持つ人を対象に、小論文試験と面接で評価します。小論文では、思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性、経済・社会に対する関心・意欲・態度や倫理性・社会性を評価します。特に志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

***私費外国人留学生選抜**

定められた教育を外国で受けて、経済学部での授業を理解できるだけの日本語能力を身につけた外国人を対象に、面接及び提出された書類と日本留学試験の成績で評価します。面接及び提出された書類では、経済学、経営学などを勉強するために必要な日本語のコミュニケーション能力を持ち、かつ日本で勉強することに明確な動機や高い意欲を持っているかを評価します。日本留学試験では「日本語」について250点以上の成績を必要とします。

医学部（医学科）

1. 教育理念

香川大学医学部医学科は、①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者、②自ら課題を探究し、それを解決できる高度な専門知識と技術、科学的思考力、判断力を備える医師・医学研究者、③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者、④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力
- ② 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能
- ③ 自ら問題点を見出し、解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を实践する態度と習慣
- ④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感
- ⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観、地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において、医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学領域の知識と技能を養成するとともに、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため、年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。4年次末においては、全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は6年次に卒業試験として行い、卒業判定に用います。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる、高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

* 情報の収集と評価、それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力、及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え、実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

* 医学に関する問題を自ら抽出し、多面的な視点から考察し、他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

* 進歩を続ける医学，医療の専門知識と技能に対する関心，生涯にわたりそれを学び続ける意欲，そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

* 尊い人命を預かる医療者として，また，医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

* 医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科，数学，英語，国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために必要となる，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

* 前期日程

大学入学共通テストにより，理科，数学，英語，国語，地理歴史・公民の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。国語の基礎学力は，考えを論理的に展開したり文章にまとめたり，適切に表現するために必要となります。理科系科目では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを学力試験で評価します。これらは，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。学力試験の数学では，論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。学力試験の英語では，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

○特別選抜

* 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

大学入学共通テストにより，理科，数学，英語，国語，地理歴史・公民の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。小論文では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，志望理由書，推薦書，調査書をもとに質問し，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意

欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。さらに調査書では主体性・多様性・協働性などを評価します。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められます。

*私費外国人留学生選抜

数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（看護学科）

1. 教育理念

香川大学医学部看護学科は、①生命の尊重を基本として、人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者、②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者、③幅広い視野をもち、地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

2. 教育目標

- ① 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し、思考力、判断力、行動力を高めることができる能力を養う。
- ② 看護の問題を総合的に判断し、解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。
- ③ 生涯を通じて自己啓発し、看護を批判的に分析し、建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。
- ④ 看護活動を通して教育、研究、管理を担い、及び国際貢献ができる能力を養う。

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

人間理解に必要となる幅広い視野と知識の獲得のため、全学共通科目を学びます。学部開設科目では、看護学における専門知識と技能を修得し、総合的な実践力、専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢、地域医療に貢献する姿勢を培います。

そのために年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。

さらに養護教諭課程を編成・実施し、所定の単位を修得することにより、養護教諭免許を申請できます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 看護の対象を包括的に捉え、問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

* 多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

* 主体的に多様な他者とかがわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

* 看護専門職として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

* 尊い人命を預かる看護専門職者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学入学後の講義を理解するために必要な基礎学力の修得と，自ら学ぶ姿勢を持つことが望まれます。看護専門職には他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることのできるコミュニケーション能力が必要となります。高等学校等における学習や課外活動を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

* 前期日程

知識の総合力を重視することから，大学入学共通テスト5教科の得点を評価します。特に，看護学を学ぶために必要な論理的思考力，基礎的学力を評価します。さらに，面接では，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

○特別選抜

* 香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試（総合型選抜Ⅰ）

（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

第1次選抜では，出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性を評価します。第2次選抜では，第1次選抜の合格者に対して小論文試験及び面接を行います。英語と日本語で出題される小論文では，知識・読解力，論理的思考力・表現力，文章構成力を評価します。面接では思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。これらを総合的に判断し，最終合格者を決定します。

医学部（臨床心理学科）

1. 教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は、①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者、②自ら課題を探究し、それを解決できる基本的な専門知識と技能、科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者、③多職種連携・協力ができる資質を持ち、心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与するとともに、心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 人間性を尊重した対人支援の態度、共感的コミュニケーション能力及び多職種と連携・協働しようとする態度
- ② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能、それに加えて身体と精神が相互に関連していることへの理解及び心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識
- ③ 心理臨床の学習・実践において、自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探求能力
- ④ 心理援助者としての倫理観、使命感、責任感、省察的態度及び生涯にわたり研鑽に努める姿勢
- ⑤ 地域社会における医療・保健、教育、福祉等の現状と課題への関心及びその中での心理援助者の役割についての理解
- ⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた、社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目、専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。進級に関する要件はありませんが、「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」及び「卒業研究」を受講するには、医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では、心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで、身体と精神が相互に関連していることを理解し、心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を修得します。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法」「心理学研究法」などの実験・演習科目では、心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに、少人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関・施設における実習科目によって、人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力、クライアントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

* 人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

* 多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

* 主体的に多様な他者とかがわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

* 他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 心理的援助に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

* 人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち，他者との関わりを通して，自己理解を深め，自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲

* 大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ，心理援助者として，地域に貢献し，社会に役立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

* 人間の健康，適応，成長に関わる心理援助者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語，英語，数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命や自然現象を科学的，論理的に理解するための幅広い知識の修得が，社会系科目では，人の生活の背景となる文化，歴史，社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するための，英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための，数学では，数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

* 前期日程

臨床心理学を学ぶために必要な広範囲の基礎学力を大学入学共通テストにより評価します。

また，個別学力検査では，国語又は数学，英語，面接を課します。国語又は数学について，国語は考えを論理的に展開したり，文章にまとめたり，適切に表現できる能力を，数学は推理能力や論理的な能力を評価するため，文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において，国際的なコミュニケーション能力を評価するた

めに実施します。面接では、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協調性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

創造工学部

1. 教育理念

我が国のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から、「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに、「もの」や「こと」が創造的で新しいものであればそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し、また、「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから、「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は、これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため、以下のような教育理念を定めています。

香川大学創造工学部では、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドを持ち、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

2. 教育目標

創造工学部では、以下の素養を育成することを目標としています。

- 1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
- 2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
- 3) 地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力
- 4) 審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力
- 5) 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

3. 教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は、全学生を対象に開設する科目で、人間的教養を高めるための教養教育科目です。1年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとIT社会において必要な能力を身につける情報リテラシー、現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は、各学部生を対象に開設する科目で、工学の専門家としての素養を身につけるための科目です。「学部開設科目」は、エンジニアとしての倫理観、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と、それぞれの分野の専門を深めるための専門科目に大別されます。

創造工学部は、「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため7つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するた

め、それぞれの特性を持った「専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は、美術・建築・工芸等の分野で、瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を、今日的視点で多角的に研究・継承し、芸術的視点で統合しながら、工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって、優れたコミュニケーション能力、表現力を育成し、工業製品のデザイン、情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで、地域の限られた人的及び物的資源を活用し、安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し、建築、土木、環境等の関連分野を俯瞰し、これらを活かした質的価値の高い“くらし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び、資格を取得できます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく、国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また、現在のようなグローバル化した世界では、ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは、地域の強みと弱みをよく知り、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせて、危機を未然に防止し、防止できないときには危機が災害に、災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報システム・セキュリティコース】

ネットワークの急速な発展により世界中の情報システムは相互に接続されグローバル化しており、ユーザーフレンドリーでかつサイバー攻撃への耐性など高いセキュリティを持つ情報システムが求められています。本コースでは、このような要求に応えるために、グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術、高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術、利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ、地域、日本、世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報システム設計ができる人材を育成します。

【情報通信コース】

インターネットとモノとが混然一体となったシステムが構築される IoT (Internet of Things) が注目されています。本コースでは、IoTの基盤技術である電子回路・通信・セキュリティ技術を身につけ、電子機器・情報通信機器の開発ができる人材を育成します。さらに、地域において必要とされる電力または通信関連の技術開発・システム運用を担うことができ、そこからグローバルに活躍できる人材を育成します。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し、「先端的なものづ

くり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。機械工学の基礎として解析力、力学、制御技術、設計・製図を身に付け、その上で、高度な機械システムを形成するために必要な電気電子、情報分野の知識についても学びます。そのため、自動車、電機、情報、鉄鋼、医療機器など機械システムが関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【先端マテリアル科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、マテリアル科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料開発に不可欠です。本コースでは「環境材料化学」・「機械材料科学」・「光・電子材料科学」の三分野にわたる幅広い教育研究を実践します。さらに、多面的・全体的な視野を養うデザイン思考教育とマテリアルにかかわるリスクマネジメント能力を養う教育を採り入れて、地域や社会のニーズに応えながら未来の社会を構築する人材を育成します。製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品等、様々な分野で活躍が期待されます。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている人を求めています。

①知識・技能

* 高等学校等における国語、外国語、数学、理科などを中心に、幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

* 本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え、それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

* 物事を多面的な視点から思考し、自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

* 主体的に多様な他者とかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち、身につけた知識・技術を分かりやすく表現し、共生環境創造、地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

* 技術者として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

* 本学部の専門領域における技術者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において、国語、外国語、数学、理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し、技術専門職として、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力も必要ですので、生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

*前期日程

多様な能力・志向を持つ学生を確保するため、試験科目の組み合わせとして、高等学校等で理系科目を中心として履修した人を対象とするもの（Aタイプ）、必ずしもそれに当てはまらない場合でも本学部の教育に興味がある人を対象とするもの（Bタイプ）の2種類を用意しています。造形・メディアデザインコース及び防災・危機管理コースを希望する人については、Bタイプも選択できます。前期日程では、従来の文系理系の枠にとらわれない広い視点に基づく創造工学を目指す学生を求めめるために大学入学共通テストでは5教科7科目（Bタイプ志願者は、理科の選択科目によっては5教科6科目）を課しています。個別学力検査では、基礎的な理数系科目（数学、物理、化学）から1科目を課しており、Bタイプの造形・メディアデザインコース志願者は総合問題を、防災・危機管理コース志願者は地学も選択できます。

*後期日程

後期日程では、科学技術に関するさまざまな問題に対する判断力や対応能力、将来国際社会で活躍するための基礎的能力などを総合的に問います。そこで、大学入学共通テストでは、5教科7科目を課しています。また、個別学力検査では「21世紀にあるべき工学」を学ぶために必要な資質、能力などを問うことを目的とした小論文を課しています。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜Ⅱでは、創造工学を学ぶために必要な基礎学力を大学入学共通テストの数学、理科、外国語の3教科4科目により評価します。また、調査書の審査では、勉学状況に加えて生徒会活動やクラブ活動などへの取り組み、特技や取得資格などを重視し、創造的な探究心、主体性、社会性、積極性などの観点から総合的に評価します。

*総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価します。第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して、口頭試問、プレゼンテーション、小論文のいずれかと面接を課します。口頭試問は、基礎学力や将来性を評価します。プレゼンテーションは、各コースの課題に対する発想力、創造力、論理的思考力、表現力等を評価します。小論文は、論理的思考力・表現力等に加えて、物理・数学に関する素養を評価します。面接は、向上心、論理性、積極性等を評価します。これらを総合的に判断し、最終の合格者を決定します。

*私費外国人留学生選抜

日本国の教育機関で教育を受ける目的を持って入国した外国人を対象としています。数学と理科について試問を行う面接を課しており、日本での大学教育の理解能力を評価します。

農 学 部

1. 教育理念

香川大学農学部は、先端的かつ総合的な生物科学を基礎に、自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより、豊かな人間性と国際的な視野、課題探求能力を備え、生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し、生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

2. 教育目標

香川大学農学部では、生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ、科学的な思考に基づく課題設定力、国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え、多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

3. 教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり、「主題科目」「大学入門ゼミ」「情報リテラシー」「学問基礎科目」「健康・スポーツ実技」「高度教養教育科目・広範教養教育科目」「外国語科目」の7つの区分があります。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」、高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」、さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の1学科制を採用しています。入学後、まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し、生物科学の基礎を身につけます。この間に、自らの学習の方向性と適性を把握し、2年後期からは以下の5つのコースに分かれて専門科目を履修し、学修を体系的に完成させます。

【応用生命科学コース】

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により、生命現象や生物が作る物質の特性や機能を分子レベルで解明して利用することが可能になってきました。応用生命科学コースでは、微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子（遺伝子、タンパク質）レベルで明らかにする生命科学の基礎から、その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

【生物生産科学コース】

21世紀の豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と、生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして、遺伝子資源の評価と品種改良、生産技術・環境や生産物の流通・利用システムなどを、フィールドからバイオまで体系的かつ実践的に学びます。基礎から応用までの理論を体系的に学習し、連携した実験やフィールド（農場）実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

【環境科学コース】

生物と環境との相互作用、環境中の物質循環について学びます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として、化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と

理論を活用し、フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに、環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

【生物資源機能化学コース】

生体の様々な機能を物質レベルで理解し、多様な生物資源の効率的な利用法の開発に必要とされる基礎的知識の修得を目標とします。特に、有用な機能を持つ生物由来の化学物質の探索法、それらの生成・作用メカニズムや分子構造を解明するための化学的手法、さらに再生産可能資源としてのバイオマスの高度利用法について重点的に学びます。

【食品科学コース】

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を科学的に理解し、食品の（１）機能性（２）安全性（３）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む）を組み合わせ、基礎から応用、そして実践的内容のカリキュラムで、安全で、機能性が高く、様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行います。

4. 入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

* 農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

* 課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

* 地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し、多様な観点で考え、他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

* 生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

* 生物関連産業での活躍を希望し、応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

* 生物資源の生産と利用に関わる者として、自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において、理科、数学、国語、英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。農学部では、生物科学の様々な分野の学問を理解し、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。また、生物資源の生産と利用に関する情報を理解し、自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

5. 選抜方法の趣旨

○一般選抜

*前期日程

高等学校における教科面での学習の達成度をみるために大学入学共通テスト5教科7科目の得点を評価します。学力試験では、農学部における勉学の素地として自然科学を重視し、数学と理科から1教科1科目選択とします。

○特別選抜

*学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜Ⅱでは、生物科学を基礎とする内外の産業界で幅広く活躍できる有為な人材の育成を目指して、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な基礎学力を大学入学共通テストの数学、理科、外国語の3教科5科目により評価します。また、提出書類から志望動機や勉学状況に加え、主体性・多様性・協働性ならびに関心・意欲などを総合的に評価します。具体的には、学内外での活動（文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学経験、ボランティア活動など）、課題研究、資格・検定等（英語検定など）において顕著な実績を上げているものを評価します。

*総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

第1次選抜では、出願書類の内容を総合して主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。

第2次選抜では、第1次選抜の合格者に対して授業理解力テスト（講義を受けての記述式テスト）及び面接を行います。授業理解力テストでは知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を理解する能力を評価します。これらの評価を総合的に判断し、最終の合格者を決定します。

*私費外国人留学生選抜

外国で所定の教育を修め本学で教育をうけることを希望し、農学部の講義の内容を理解できる日本語能力を身につけている外国人を対象に、面接及び日本留学試験に加え、TOEFL、TOEIC、又はIELTSの成績で評価します。また、日本大学連合学力試験の成績を利用する選抜も実施します。面接では、農学部において生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な日本語コミュニケーション能力、動機や意欲等を評価します。

II 入学定員

学部	学科・課程等		入学定員(人)	募 集 人 員 (人)							
				一 般 選 抜		特 別 選 抜					
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜		総合選抜 I	社会人選抜	私費外国人留学生選抜	
大学入学共通テストを免除する(I)	大学入学共通テストを課する(II)										
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	160	8		2					
		小学校教育コース		55	18	32					
		中学校教育コース		A系	14						
				B系	10	7			10		
	C系	4									
計		160	91	25	34		10				
法学部	昼間コース	法 学 科	150	75	35	10	30			若干人	
	夜間主コース	法 学 科	10						10		
	計		160	75	35	10	30		10		
経済学部	昼間コース	経 済 学 科	240	110	35	50	II A 40	II B 5			若干人
	夜間主コース	経 済 学 科	10						10		
	計		250	110	35	50	45		10		
医学部	医 学 科		※ 95	※ 70			※ 25			若干人	
	看 護 学 科		60	35				25			
	臨 床 心 理 学 科		20	20							
	計		175	125			25	25			
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース	330	183	55	47	45			若干人	
		建築・都市環境コース									A タイプ 165
		防災・危機管理コース									
		情報システム・セキュリティコース									
		情報通信コース									
		機械システムコース									
	先端マテリアル科学コース	B タイプ 18									
計		330	183	55	47	45					
農学部	応 用 生 物 科 学 科		150	105			20	25		若干人	
	計		150	105			20	25			
合 計			1,225	689	150	94	167	105	20		
						261					

備考

【共 通】

入学定員には、私費外国人留学生の募集人員若干人を含みます。

総合型選抜 I 及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員を一般選抜（前期日程・後期日程）で補充します。

【教育学部】

教育学部の学校推薦型選抜Ⅰでは以下の区分毎に募集を行います。

課程	コース	区 分 等	募集人員
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	(ア) 幼児教育に関心をもつ者	2人
		(イ) 小学校教育に関心をもつ者	27人
	小学校教育コース	(ウ) 特別支援教育に関心をもつ者	5人
計			34人

教育学部の総合型選抜Ⅰでは以下の区分毎に募集を行います。

課程	コース	区 分 等	募集人員
学校教育教員養成課程	中学校教育コース	(エ) 技術教育に関心をもつ者	2人
		(オ) 家庭科教育に関心をもつ者	2人
		(カ) 音楽教育に関心をもつ者	2人
		(キ) 美術教育に関心をもつ者	2人
		(ク) 保健体育教育に関心をもつ者	2人
計			10人

(注) (エ)～(ク)の区分における人数は、目安です。

【医学部】

医学科の学校推薦型選抜Ⅱにおける募集人員25人のうち、県内高校出身枠として13人程度は、香川県内の高等学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者とします。

※ 医学科の一般選抜（前期日程）の募集人員が79人（「地域枠（一般）」9人を含む。）、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員が30人（「地域枠（学校推薦）」5人を含む。）となるよう調整中です。

人数については予定であり、変更があり得ます。確定次第、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）ですみやかに公表します。

【創造工学部】

創造工学部の募集人員の目安は以下のとおりです。

学科	コース	募集人員の目安	前期Aタイプ	前期Bタイプ	後期	学校推薦型Ⅱ	総合型Ⅰ
創造 工 学 科	造形・メディアデザイン	45	13	12	5	5	10
	建築・都市環境	60	33	0	12	9	6
	防災・危機管理	25	7	6	3	4	5
	情報システム・セキュリティ	40	22	0	5	7	6
	情報通信	40	24	0	6	4	6
	機械システム	60	36	0	12	9	3
	先端マテリアル科学	60	30	0	12	9	9
合 計		330	165	18	55	47	45

(注) 各コースの募集人員の目安は入学定員ではありません。

学校推薦型選抜Ⅱおよび総合型選抜Ⅰはコース毎に募集を行います。

総合型選抜Ⅰにおける募集人員45人には、高等学校（中等教育学校を含む。）の工業、商業、情報などに関する専門教育を主とする教育課程（本学が普通科と認める教育課程を除く。）を履修した者の優先枠を各コースに設け、専門教育を主とする教育課程履修者1名以上を合格者とします。ただし、その受験者が合格基準に達していない場合は、この限りではありません。

Ⅲ 入学者選抜方法等
(一般選抜)

選抜方法等				大学入学共通テストを課する	個別学力検査									
					教科・科目の学力試験を課する	実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	2段階選抜		第1段階の選抜による合格者数	その他		
									調査内容として、調と成績第1段を行い、必要となる第1段の合格者数を調査する。				定員に対する倍率	
学部(学科・課程・コース)名・区分														
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース 小学校教育コース	前期日程	実技試験 選択者以外	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
				実技試験 選択者	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
		中学校教育コース	A系 B系	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
			C系	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	学校教育教員養成課程 (幼児教育コースを除く)		後期日程	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
法学部	(昼間コース) 法 学 科	前期日程	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期日程	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×		
経済学部	(昼間コース) 経 済 学 科	前期日程	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期日程	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×		
医学部	医 学 科	前期日程	○	○	×	○	×	○	約4倍	×	×			
	看 護 学 科	前期日程	○	×	×	○	×	×	×	×	×			
	臨 床 心 理 学 科	前期日程	○	○	×	○	×	○	約5倍	×	×			
創造工学部	創造工学科	前期日程	Aタイプ	○	○	×	×	×	×	×	×	×		
			Bタイプ	○	○	×	×	×	×	×	×	×		
		後期日程	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×		
農学部	応 用 生 物 学 科	前期日程	○	○	×	×	×	×	×	×	×			

備考

【教育学部】

1. 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 前期日程では、A系、B系、C系の3系ごとに試験を実施します。

系は個別学力検査における教科・科目等の区分を表すもので、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技試験（音楽、美術、保健体育からいずれか1つ選択）です。

2. 学校教育教員養成課程は、下記のとおり志望順位をつけて第2志望まで志願することができます。

前期日程	① 幼児教育コースと小学校教育コース ② 小学校教育コース（国語又は外国語受験者）と中学校教育コースA系 ③ 小学校教育コース（数学又は理科受験者）と中学校教育コースB系 ④ 小学校教育コース（実技試験受験者）と中学校教育コースC系
後期日程	小学校教育コースと中学校教育コース

3. 学校教育教員養成課程には、次のコース・領域があります。

課 程	コ ー ス	領 域
学校教育教員 養成課程	幼児教育コース	
	小学校教育コース	教育領域、心理領域、生活・総合領域、 特別支援教育領域 国語領域、社会領域、数学領域、理科領域、音楽領域、美術 領域、保健体育領域、技術領域、家庭領域、英語領域
	中学校教育コース	国語領域、社会領域、数学領域、理科領域、音楽領域、美術 領域、保健体育領域、技術領域、家庭領域、英語領域

4. 領域への所属は2年次からです。

個別学力検査で選択した受験教科・科目及び系は、2年次からの領域の選択とは関係しません。

【医学部】

医学科前期日程の地域枠（一般）にあつては、左表に加え香川県による面接があります。

※地域枠（一般）の募集については調整中です。

【創造工学部】

創造工学科前期日程では、AタイプとBタイプの2タイプの試験があります。Aタイプは全コース（7コース）へ志願することが可能で、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。Bタイプは造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかへ志願することができます。

創造工学科後期日程では、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。

【その他】

入学生員に欠員が生じた場合には、追加合格及び欠員補充第2次募集を行うことがあります。

(特別選抜)

選抜方法等			学 校 推 薦 型 選 抜					総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを免除する)	社 会 人 選 抜	私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、教科・科目の学力試験を免除し調査書を主な資料として判定する								
学部 (学科・課程・コース) 名			学校推薦型選抜の区分								
			学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅰ	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅲ	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅳ	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅴ				
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	(ア)幼児教育に関心をもつ者	×	×	○	○	口頭試問	×		
		小学校教育コース	(イ)小学校教育に関心をもつ者	×	×	○	○	×			
			(ウ)特別支援教育に関心をもつ者	×	×	○	○	×			
	中学校教育コース	(エ)技術教育に関心をもつ者	/					○			
		(オ)家庭科教育に関心をもつ者									
		(カ)音楽教育に関心をもつ者									
(キ)美術教育に関心をもつ者											
(ク)保健体育教育に関心をもつ者											
法学部	昼間コース	法 学 科	学校推薦型選抜Ⅰ	×	×	○	○	×	×	×	○
			学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	×	×	×			
	夜間主コース	法 学 科	/					×	○	×	
経済学部	昼間コース	経 済 学 科	学校推薦型選抜Ⅰ	×	×	○	○	×	×	×	○
			学校推薦型選抜ⅡA・学校推薦型選抜ⅡB	○	×	×	×	×			
	夜間主コース	経 済 学 科	/					×	○	×	
医学部	医 学 科		学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	○	○	×	×	×	○
	看 護 学 科		/					○	×	×	
	臨 床 心 理 学 科		/					×	×	×	
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース	/					○	×	○	
		建築・都市環境コース									
		防災・危機管理コース									
		情報システム・セキュリティコース									
		情報通信コース									
		機械システムコース									
先端マテリアル科学コース											
農学部	応 用 生 物 科 学 科		学校推薦型選抜Ⅱ	○	×	×	×	×	○	×	○

備考

【経済学部】

経済学部（昼間コース）の学校推薦型選抜の区分は、次のとおりです。

学校推薦型選抜Ⅰ	高等学校のすべての学科の卒業見込者又は高等専門学校第3学年修了見込者を対象とする学校推薦型選抜
学校推薦型選抜ⅡA	高等学校のすべての学科の卒業見込者又は高等専門学校第3学年修了見込者を対象とする学校推薦型選抜
学校推薦型選抜ⅡB	高等学校の農業、水産、工業、商業、家庭、厚生、商船、美術、音楽など本学が専門教育を主とすると認める学科*の卒業見込者又は高等専門学校第3学年修了見込者を対象とする学校推薦型選抜 *「専門教育を主とする学科」には、専門教育に関する科目を主として履修する普通科の商業コース、総合学科の商業系列などを含みます。

（注）高等学校には中等教育学校を含む。

【医学部】

医学科学学校推薦型選抜Ⅱの地域枠（学校推薦）にあつては、左表に加え香川県による面接があります。

※地域枠（学校推薦）の募集については調整中です。

IV 一般選抜（前期日程・後期日程）

1. 出願資格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和4年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目（36～53ページ参照）を本学が指定した方法で受験した者としてします。

なお、本学では大学入学共通テストの過去の成績は利用しませんので、本年度行われる大学入学共通テストを必ず受験してください。

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの（※1）
 - カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者
 - キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの（※2）
- ※1 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2022年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。
- ※2 出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので、80ページ「XI 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

(注) 医学部医学科の地域枠（一般）に出願できる者は、上記の出願資格に該当し、かつ、「地域枠（一般）」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります（募集については調整中）。

なお、地域枠（一般）に出願する者は、一般枠（通常の一般選抜）を併せて出願することができます（募集については調整中）。

- ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2022年3月までに卒業見込みの者
 - ② 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者
 - ③ 将来、香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）医師の業務に従事する意志のある者
- ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（<https://www.pref.kagawa.lg.jp/>）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。

2. 出願上の注意事項

（1）併願について

志願者は、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、合計3つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に出願することができます。いわゆる「前期－前期」、「後期－後期」のそれぞれの組み合わせの併願はできません。

※詳しくは公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照してください。

（2）学校推薦型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の学校推薦型選抜に合格している者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

（3）総合型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の総合型選抜に合格している者は、当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

（4）前期日程試験による合格者の取扱い

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し、2022年3月15日（火）までに入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても、その合格者とはなりません。

（5）学内併願について

本学の異なる日程の学部間又は同一学部への併願は妨げません。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

《合否判定基準等》

- ・ 総合点により合否を判定します。
- ・ 教育学部学校教育教員養成課程では、29ページのとおり第2志望までコースの志願ができます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。
- ・ 創造工学部前期日程Aタイプ及び創造工学部後期日程では、全コース（7コース）に志願することが可能で、志望順位をつけて第7志望まで志願できます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。創造工学部前期日程Bタイプでは、造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかに志願することができます。
- ・ 医学部医学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え、地域枠（一般）では、香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。
- ・ 医学部看護学科及び臨床心理学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。
- ・ その他、各学部での選抜方法等については、〔1〕大学入学共通テストの利用教科・科目等、〔2〕個別学力検査の実施教科・科目等の注意欄等を参照してください。

《大学入学共通テスト及び個別学力検査の取扱いについて》

- ・ 本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は、個別学力検査を受験することができませんので、注意してください。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で『英語』を選択する受験者は、必ず「リーディング」と「リスニング」の両方を受験してください。

両方を受験していない場合は、個別学力検査を受験することができません。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

- ・ 本学が課している大学入学共通テスト及び個別学力検査の教科・科目等全てを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は、別表（36～53ページ参照）のとおりです。

大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間に2科目受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕 個別学力検査の実施教科・科目等

個別学力検査の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は、別表（36～53ページ参照）のとおりです。

出願後は、選択した科目を変更することはできません。

〔3〕 2段階選抜（医学部医学科，臨床心理学科）

医学部医学科及び臨床心理学科においては，入学志願倍率が次の倍率を超えた場合に2段階選抜を実施します。

学科	日程	前期日程
医 学 科		約4倍
臨床心理学科		約5倍

第1段階選抜は，大学入学共通テストの成績（前期日程の選抜における配点）及び調査書の内容により行います。

第1段階選抜の合格者を対象に個別学力検査を実施し，最終的な合格者を決定します。

別表 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等について（一般選抜）
【教育学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
学校教育教員養成課程	前期日程	国	『国語』	必須	『国語』 『英語』 〔数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B〕又は 〔数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B〕 〔物基・物〕、〔化基・化〕、〔生基・生〕、 〔地学基・地学〕から1科目選択 〔音楽〕、〔美術〕、〔保健体育〕から1つ選択 〔1教科1科目〕		
		地歴	〔『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、 『地理A』、『地理B』〕 から1又は2科目				
		公民	〔『現社』、『倫』、『政経』、 『倫・政経』〕から1科目				
	後期日程	理	(1)〔『物基』、『化基』、『生基』、 『地学基』〕から2科目 (2)〔『物』、『化』、『生』、『地学』〕 から1科目	から3科目 (理科で(1) 又は(3)を 選択する 場合は 4科目)	その他	小論文	
		A系	(3)〔『物基』、『化基』、『生基』、 『地学基』〕から2科目 並びに〔『物』、『化』、『生』、 『地学』〕から1科目		国 外	『国語』 『英語』	から1教科 〔1教科1科目〕
	前期日程	B系	(4)〔『物』、『化』、『生』、『地学』〕 から2科目	必須	数	〔数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B〕又は 〔数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B〕 〔物基・物〕、〔化基・化〕、〔生基・生〕、 〔地学基・地学〕から1科目選択 〔1教科1科目〕	
		数	『数Ⅰ・数A』		から1科目	実技試験	〔音楽〕、〔美術〕、〔保健体育〕から1つ選択
		外	〔『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』〕 〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で(1)又 は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科 8科目）〕		から1科目		
	後期日程	C系	〔『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』〕 〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で(1)又 は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科 8科目）〕	から1科目	その他	小論文	

(注) 【学科等名】、【区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は、A、B、Cの3系別に募集します。
系は個別学力検査における教科・科目等の区分を表します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民については、『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1又は2科目、『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目までの成績を用います。
- 3 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入学共通テストの配点等」参照)
 - 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目	・・・	1科目	} 3科目（ウを用いる場合は4科目）
イ. 地歴、公民の第2解答科目			
ウ. 理科の基礎を付した科目（2科目の合計）		イ～エのうち高得点順に2科目	
エ. 理科の基礎を付さない科目		（ウを用いる場合は3科目）	

 ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア、イの2科目の成績と、ウ、エのうち高い方の成績を用います。
また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技試験（『音楽』、『美術』、『保健体育』）からいずれか1つ選択）です。
- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目)
- 『国語』 「国語総合」、『現代文B』、『古典B』の3科目を合わせた範囲から出題します。
- 数学 「数Ⅰ」、『数Ⅱ』、『数A』、『数B』の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』、『数A』、『数B』の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
『数A』は（場合の数と確率）、（図形の性質）を、『数B』は（数列）、（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」、『コミュニケーション英語Ⅱ』、『コミュニケーション英語Ⅲ』、『英語表現Ⅰ』、『英語表現Ⅱ』の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 理科 『物基・物』は、『物理基礎』と『物理』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、『化学基礎』と『化学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は、『生物基礎』と『生物』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は、『地学基礎』と『地学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 小論文 広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入学共通テストの配点等													
学科名等	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等	
						①	②	①	②				
学校教育教員養成課程	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100		100	100	(50) (50) 100	100	200	900		
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合		200	100		100	100	/	100 100	200	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合		200	100 200	100	100	100	100	(50) (50) 100	/	200	900	
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(2)を選択した場合		200	100 200	100	100	100	100	/	100	200	900	
	Ⅴ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(3)を選択した場合		*100 *100	200	*200	100	100	(50) (50) *100	*100	200	900	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。	
			100 100 200									理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したのものについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。	
Ⅵ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(4)を選択した場合	200	*100 *100 *200	100	100	100	100	/	*100 *100	200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。		

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査の配点等									
学科等名	区分	国語	数学	理科	外国語	実技	小論文	配点合計	
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200	*200	200	
	小学校教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200	*200		200
		後期日程						200	200
	中学校教育コース	前期日程	A系	*200		*200			200
			B系		*200	*200			200
C系						200		200	
	後期日程						200	200	

【法 学 部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『英語』 から1教科 〔1教科1科目〕
		地歴	(『世B』, 『日B』, 『地理B』) から1又は2科目		
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目		
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目		
後期日程	理	(『物基』, 『化基』, 『生基』, 『地学基』) から2科目又は (『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目	その他	小論文	
	外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕			

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 基礎を付した科目(2科目の合計)	}	ア又はイのうち高得点の科目(アを用いる場合は2科目)
イ. 基礎を付さない科目		

 また、理科について、指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅷの8通りです。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等		
						①	②	①	②					
(昼間コース) 法学科	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合	前期日程 後期日程	200	100	100	100	100	(50)	(50)	100	200	900		
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100			100	200	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)	(50)	*100	200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。	
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	100	100	100	100			*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、第1解答科目の成績を用います。
	Ⅴ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合		200	200		100	100	(50)	(50)	100		200	900	
	Ⅵ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200		100	100			100		200	900	
	Ⅶ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200		100	100	(50)	(50)	*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。
	Ⅷ 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	200		100	100			*100	*100	200	900	*印を付したのものについては、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査の配点等					
学科等名	区分	数学	外国語	小論文	配点合計
(昼間コース) 法学科	前期日程	*300	*300		300
	後期日程			300	300

【経済学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	『国語』	必須	『英語』 〔1教科1科目〕
		地歴 公民 理	(「世A」「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」) (「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」) (1) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目 (2) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (3) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目並びに(「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (4) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から2科目	から2科目 (理科で(1) 又は(3)を選 択する場合 は3科目)	
	後期日程	数	(「数I」, 「数I・数A」) (「数II」, 「数II・数B」, 「簿・会」『情報』)	から1科目 から1科目	その他 小論文
		外	(「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」) 〔4教科6科目又は5教科6科目(理科で(1)又は(3)を選択 する場合は4教科7科目又は5教科7科目)〕	から1科目	

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:「数I・数A」・・・1科目, 「簿・会」・・・1科目)
- 地歴公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入学共通テストの配点等」参照)
 - 地歴、公民から1科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の1科目	} ア～ウのうち高得点順に2科目(イを用いる場合は3科目)
イ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)	
ウ. 理科の基礎を付さない科目	

 ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、アの成績と、イ、ウのうち高い方の成績を用います。
 - 地歴、公民から1科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の1科目	} ア、イのうち高得点のものを1科目	} 2科目
イ. 理科の第2解答科目		
ウ. 理科の第1解答科目・・・1科目		
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(1)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目・・・1科目	} イ、ウのうち高得点のものを	} 2科目
イ. 地歴、公民の第2解答科目		
ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)		

 1科目(ウを用いる場合は2科目)
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(2)により1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目・・・1科目	} イ、ウのうち高得点のものを1科目	} 2科目
イ. 地歴、公民の第2解答科目		
ウ. 理科の基礎を付さない科目		
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の2科目の合計	} ア～エの各合計点のうち 最も高いもの
イ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の基礎を付した科目(2科目の合計)の合計	
ウ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の基礎を付さない科目の合計	
エ. 理科の3科目の合計	
 - 地歴、公民から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の2科目の合計	} ア～ウの各合計点のうち最も高いもの
イ. 理科の2科目の合計	
ウ. 地歴、公民の第1解答科目と理科の第1解答科目の合計	
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。
- 外国語「英語」 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 前期日程の大学入学共通テストについては、各教科に傾斜配点をした配点A～配点Cを計算し、最も高得点の配点型を利用します。
- 5 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のI～XIの11通りです。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等			
					①	②	①	②						
(昼間コース) 経済学科	I 地歴、公民は選択せず、理科は(3)を選択した場合	前期日程	配点A	300		100	100	(50)	(50)	100	200	理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、科目数不足となり、不合格となります。		
			配点B	200		150	150				200			
	配点C		200		100	100				300				
	後期日程	200		100	100	(50)	(50)	100	200	800				
	II 地歴、公民は選択せず、理科は(4)を選択した場合	前期日程	配点A	300		100	100			100	100		200	
			配点B	200		150	150				200			
			配点C	200		100	100				300			
	後期日程	200		100	100			100	100	200	800			
	III 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(1)を選択した場合	前期日程	配点A	300	100	100	100	(50)	(50)			200		
			配点B	200		150	150					200		
			配点C	200		100	100					300		
後期日程		200	100	100	100	(50)	(50)			200	800			
IV 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(2)を選択した場合	前期日程	配点A	300	100	100	100				100	200			
		配点B	200		150	150					200			
		配点C	200		100	100					300			
	後期日程	200	100	100	100				100	200	800			
V 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程	配点A	300	*100	100	100	(50)	(50)		*100	200		*印を付したものについては、高い順に2つの成績を uses。ただし、理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、地歴、公民の成績と、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を uses。	
		配点B	200		150	150				*100	200			
		配点C	200		100	100				*100	300			
	後期日程	200	*100	100	100	(50)	(50)		*100	200	800			
VI 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合	前期日程	配点A	300	*100	100	100				*100	*100	*印を付したものについては、理科②の第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科②」の第2解答科目のうち高い方の成績を uses。		
		配点B	200		150	150				*100	*100			
		配点C	200		100	100					*100			
	後期日程	200	*100	100	100				*100	*100	200		800	
VII 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は選択しなかった場合	前期日程	配点A	300	100	100	100	100				200			
		配点B	200		150	150					200			
		配点C	200		100	100					300			
	後期日程	200	100	100	100	100				200	800			
VIII 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合	前期日程	配点A	300	*100	*100	100	100	(50)	(50)		200	*印を付したものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民」の第2解答科目、「理科①」のうち高い方の成績を uses。		
		配点B	200		150	150					200			
		配点C	200		100	100					300			
	後期日程	200	*100	*100	100	100	(50)	(50)		*100	200		800	

※次ページに続く

大学入学共通テストの配点等															
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民		数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等			
						①	②	①	②						
(昼間コース) 経済学科	IX 地歴、公民 で指定した科目 から2科目 選択し、理科 は(2)を選択し た場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	/	/	*100	200	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。		
			配点B	200			150	150				200			
			配点C	200			100	100				300			
		後期 日程	200	*100	*100	100	100	*100	200	800					
		前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	(50)	(50)	*100	200		*印を付したのものについては、「地歴、公民の第1解答科目と理科①の成績」、「地歴、公民の第1解答科目と理科②の成績」、「地歴、公民の2科目の成績」、「理科①と理科②の成績」のうち高い方の成績を用います。ただし、理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。	
			配点B	200			150	150	*100	200					
	配点C		200	100			100	300							
	後期 日程	200	*100	*100	100	100	(50)	(50)	*100	200	800				
	XI 地歴、公民 で指定した科目 から2科目 選択し、理科 は(4)を選択し た場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	/	/	*100	*100	200		*印を付したのものについては、「地歴、公民の第1解答科目と理科②の第1解答科目の成績」、「地歴、公民の2科目の成績」、「理科②の2科目の成績」のうち高い方の成績を用います。
			配点B	200			150	150					200		
			配点C	200			100	100					300		
		後期 日程	200	*100	*100	100	100	*100	*100	200	800				

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等				
学科等名	区分	外国語	小論文	配点 合計
(昼間コース) 経済学科	前期日程	200		200
	後期日程		300	300

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「100点」とします。

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
					①	②	①	②					
医学科		前期日程	200	100 (1科目)	50	50			100	100	100	700	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等						
学科等名	区分	数学	理科	外国語	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200	100	700

【医学部】（看護学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査	
		教科	科目名等		教科等	科目名等
看護学科	前期日程	国	『国語』	必須	その他	面接
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』)	から1科目		
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』)			
		理	(1) (『物基』, 『化基』, 『生基』) から2科目 (2) (『物』, 『化』, 『生』) から1科目	(1), (2)の いずれか		
		数	(『数I・数A』, 『数II・数B』, 『簿・会』, 『情報』)	から1科目		
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』)	から1科目		
		〔5教科5科目（理科で(1)を選択する場合は5教科6科目）〕				

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数I・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 理科について基礎を付さない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、(2)を選択することができませんので、注意してください。
また、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を受験している場合には、次の科目の成績を用います。
ア. 基礎を付した科目（2科目の合計） } ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は2科目）
イ. 基礎を付さない科目
- 数学について指定した科目から2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 理科①は、1科目「75点」で、2科目合わせて「150点」の配点となります。

大学入学共通テストの配点等											
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①	②			
看護学科	I 理科で(1)を選択した場合	前期日程	200	100 (1科目)	150 (1科目)		(75) (75) 150		200	800	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。
	II 理科で(2)を選択した場合		200	100 (1科目)	150 (1科目)			150 (1科目)	200	800	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。 理科②で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等			
学科等名	区分	面接	配点 合計
看護学科	前期日程	200	200

【医学部】（臨床心理学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
臨床心理学科	前期日程	国	『国語』	必須	『国語』	約5倍	
		地歴	（『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』）から1又は2科目	から1又は2科目	〔『数I・数II・数A・数B』又は『数I・数II・数III・数A・数B』〕		から1教科
		公民	（『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』）から1科目				
		理	(1)（『物基』, 『化基』, 『生基』）から2科目 (2)（『物』, 『化』, 『生』）から1科目 (3)（『物基』, 『化基』, 『生基』）から2科目並びに（『物』, 『化』, 『生』）から1科目 (4)（『物』, 『化』, 『生』）から2科目	(1)~(4)のいずれか	から3科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は4科目）		〔2教科2科目〕
		数	『数I・数A』	必須	『数II』, 『数II・数B』, 『簿・会』, 『情報』		から1科目
外	（『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』）	から1科目	〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目）〕	から1科目			
				その他	面接		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数I・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目）
- 地歴及び公民については、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1又は2科目、「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理, 政治・経済」から1科目までの成績を用います。
- 地歴, 公民, 理科の利用科目等は次のとおりです。（右表「大学入学共通テストの配点等」参照）
 - 地歴, 公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 - 地歴, 公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)~(4)のいずれかを選択してください。
 - 地歴, 公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴, 公民の第1解答科目 イ. 地歴, 公民の第2解答科目 ウ. 理科の基礎を付した科目（2科目の合計） エ. 理科の基礎を付さない科目	}	・・・・ 1科目 イ~エのうち高得点順に2科目 （ウを用いる場合は3科目）	} 3科目（ウを用いる場合は4科目）
---	---	---	--------------------

ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア, イの2科目の成績と、ウ, エのうち高い方の成績を用います。
また、地歴, 公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『国語』 「国語総合」, 「現代文B」, 「古典B」の3科目を合わせた範囲から出題します。
- 数学 「数I」, 「数II」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数I」, 「数II」, 「数III」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は（場合の数と確率）, （図形の性質）を、「数B」は（数列）, （ベクトル）を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語I」, 「コミュニケーション英語II」, 「コミュニケーション英語III」, 「英語表現I」, 「英語表現II」の5科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等		
						①	②	①	②					
臨床心理学科	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程	200	100		100	100	(50) └──┬── 100	(50)	100	200	900		
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合		200	100		100	100	/	/	100	100	200	900	
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合		200	100	100		100	100	(50) └──┬── 100	(50)	/	200	900	
			200	/	/		100	100	/	/	/	200	900	
	Ⅳ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(2)を選択した場合		200	100	100		100	100	/	/	100	200	900	
			200	/	/		100	100	/	/	100	200	900	
Ⅴ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(3)を選択した場合	*100	*100					/	/					*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。 理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したものについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。	
	*200	/			100	100	(50) └──┬── *100	(50)	*100	200	900			
	100	100					/	/						
	200	/					/	/						
Ⅵ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(4)を選択した場合	*100	*100					/	/					*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。	
	*200	/			100	100	/	/	*100	*100	200	900		

【個別学力検査の配点等】

個別学力検査の配点等					
学科等名	区分	国語又は数学	外国語	面接	配点合計
臨床心理学科	前期日程	200	200	100	500

【創造工学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
創造工学部	全コース	Aタイプ	国	『国語』 必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』
			地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目		
	公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目	数	『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目		
	数	(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『情報』) から1科目			理	『物』) 必須
理	(『化』, 『生』, 『地学』) から1科目	外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目			
外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目			〔5教科7科目〕		数
前期日程	Bタイプ	国	『国語』 必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』	
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目			理
公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目	数	『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目			
数	(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目			その他	総合問題	
理	(『物基』, 『化基』, 『生基』, 『地学基』) から2科目又は (『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から1科目	外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目			
外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目			〔1教科1科目〕		
			〔5教科6科目（理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科7科目）		数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』
					〔1教科1科目〕	
全コース	後期日程	国	『国語』 必須	その他	小論文	
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目			
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目			
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目			
		理	(『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『情報』) から1科目			
		理	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から2科目			
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目			
		〔5教科7科目〕				

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
ア. 基礎を付した科目 (2科目の合計)
イ. 基礎を付さない科目 } ア又はイのうち高得点の科目 (アを用いる場合は2科目)
また、Bタイプの試験においては、理科で指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)
- 数学
Aタイプの試験においては、『数Ⅰ』, 『数Ⅱ』, 『数Ⅲ』, 『数A』, 『数B』の5科目を合わせた範囲から出題します。
Bタイプの試験においては、『数Ⅰ』, 『数Ⅱ』, 『数A』, 『数B』の4科目を合わせた範囲から出題します。
なお、いずれのタイプの試験においても、『数A』は(場合の数と確率), (図形の性質)を、『数B』は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科
『物基・物』は、『物理基礎』と『物理』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、『化学基礎』と『化学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は、『地学基礎』と『地学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 総合問題
総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。
- 小論文
小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価します。特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の 利用方法等	
					①	②	①	②				
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	200	100 (1科目)	100	100	100	100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	造形・メディアデザインコース 防災・危機管理コース		Bタイプ	200	100 (1科目)	100	100	(50) (50) 100	100	200	800	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 理科②で基礎を伏さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 理科で基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、高い方の成績を用います。
		全コース	後期日程		200	100 (1科目)	100	100	100	100	200	900

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

学科等名	区分	数学	理科			総合 問題	小論文	配点 合計
			物理	化学	地学			
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	*200	*200	*200		200
	造形・メディアデザインコース 防災・危機管理コース		Bタイプ	*200	*200	*200	*200	200
				*200	*200	*200	*200	200
	全コース	後期日程					100	100

【農学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
応用生物 科学科	前期日程	国	『国語』	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』、『化基・化』、 『生基・生』から1科目) [1教科1科目]
		地歴	(『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、『地理A』、『地理B』)		
		公民	(『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』)		
		数	(『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』)		
			(『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿・会』、『情報』)		
		理	(『物』、『化』、『生』、『地学』)		
外	(『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』)	[5教科7科目]			

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
 なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
 ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

【個別学力検査】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
 なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
 「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
 ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科 『物基・物』は, 「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
 『化基・化』は, 「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
 『生基・生』は, 「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
					①	②	①	②					
応用生物科学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査の配点等				
学科等名	区分	数学	理科	配点 合計
応用生物科学科	前期日程	*200	*200	200

〔4〕 実技試験（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

<p>幼児教育コース，小学校教育コースで実技試験を受験する者及び中学校教育コースでC系を受験する者</p>	
音 楽	<p>実技試験（音楽）を受験する者は，下記の試験項目のうち（1）は必ず受験し，それに加えて（2）から（4）のうちいずれか1つを選択し，合わせて計2項目を受験してください。</p> <p>（1） ピアノ：モーツァルト，ベートーヴェンのソナタの中より，第1楽章又は終楽章から任意の1楽章を演奏する（ただし，緩徐楽章を除く。）。</p> <p>（2） 新曲視唱及び旋律聴音</p> <p>（3） 歌曲：以下の6曲（ア～カ）の中から任意の1曲を選び，原語で演奏する。</p> <p style="margin-left: 2em;">ア. Caro laccio, dolce nodo F. Gasparini . . . Es dur</p> <p style="margin-left: 2em;">イ. Caro laccio, dolce nodo F. Gasparini . . . Des dur</p> <p style="margin-left: 2em;">ウ. Caro laccio, dolce nodo F. Gasparini . . . 上記以外の調</p> <p style="margin-left: 2em;">エ. 荒城の月（1，2番を歌唱） 滝 廉太郎 . . . d moll</p> <p style="margin-left: 2em;">オ. 荒城の月（1，2番を歌唱） 滝 廉太郎 . . . c moll</p> <p style="margin-left: 2em;">カ. 荒城の月（1，2番を歌唱） 滝 廉太郎 . . . 上記以外の調</p> <p style="margin-left: 2em;"><u>なお，ウ・カを希望する者は，移調楽譜1部（伴奏譜を含む。）を入学願書に添えて提出してください。</u></p> <p>（4） 管弦打楽器：任意の1曲を無伴奏で演奏する。</p> <p>備考 1. 演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。 2. 管弦打楽器は，各自持参してください。</p>
美 術	<p>実技試験（美術）を受験する者は，下記の試験項目を受験してください。</p> <p>◆鉛筆静物デッサン （モチーフは3つ，用紙は四つ切り画用紙，制作時間は3時間30分）</p> <p>備考 1. 鉛筆，消しゴム（練り消しゴムを含む），羽ぼうき（又はダスティングブラシ），カッターナイフ，デッサンスケール，はかり棒など試験に必要な用具は各自で持参してください。 2. 用紙，画板，画板用クリップは用意します。</p>

保健体育	<p>実技試験（保健体育）を受験する者は、下記（１），（２）を受験してください。</p> <p>（１） 一般運動能力テスト （ジグザグ走，シャトルスタミナテスト，立ち５段跳び，長座メディシンボール投げ）</p> <p>（２） 次の中から１種目選択 １．陸上競技 ２．器械運動 ３．ダンス ４．柔道 ５．剣道 ６．水泳 ７．バスケットボール ８．バレーボール ９．サッカー １０．ハンドボール １１．バドミントン １２．卓球 １３．硬式野球 １４．ソフトボール １５．硬式テニス １６．ソフトテニス</p> <p>備考 １．十分に運動のできる服装を用意してください。 ２．一般運動能力テストは体育館で行います。体育館シューズを持参してください。 ３．スパイク使用種目については，その使用を認めます。 ４．用具は，大学で用意します（受験者の持参も可）。 ５．水泳は，屋内温水プールで行います。 ６．受験者数等の都合で，実技試験は夕刻までかかる場合があります。</p>
------	--

〔5〕 小論文

実施学部名	小論文の概要
教育学部	<p>小論文は、大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。すなわち、単なる感想ではなく、与えられた素材に基づき構成される客観的な事象について、所定の条件のもとに自らの論旨を定めて論述することを要求するものです。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。</p> <p>なお、評価に際しては、理解力、着想力、思考力及び文章表現上の諸能力などを総合的に評価します。</p>
法学部	<p>小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するとともに、学校教育法で定められている高等学校教育の目標である「社会について、広く深い理解と健全な批判力」を身につけているかどうかを判定することにあります。</p> <p>素材は、特定の教科にかたよらず、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。</p>
経済学部	<p>小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するものです。評価の観点は、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。</p> <p>素材は、特定の教科にかたよらず、広く経済・社会等の分野から選ばれます。</p>
創造工学部	<p>小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価するための論述式問題です。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。</p>

〔6〕 総合問題

実施学部名	総合問題の概要
創造工学部	<p>総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。</p> <p>素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。</p>

〔7〕 面接

実施学部名	面接の概要
医学部	<p>医学科における面接は、医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。</p> <p>地域枠（一般） 「地域枠（一般）」の大学入学共通テストの教科・科目及び個別学力検査の実施教科・科目等については、一般選抜（前期日程）と同じです。それに加え、香川県による面接があります（募集については調整中です）。</p>
	<p>看護学科における面接は、将来、看護・医療に従事する者としての適性をみるために行います。</p>
	<p>臨床心理学科における面接は、心理援助者としての適性をみるために行います。</p>

V 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）

1. 推薦要件

<p>教 育 学 部</p>	<p>【幼児教育コース】 次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員は、1校につき1人とします。</p> <p>【小学校教育コース】 次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者、高等学校を卒業した者、又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 学業成績、人物ともに優秀であり、調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</p> <p>※【中学校教育コース】では学校推薦型選抜を行いません。</p>
<p>法 学 部</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員は、1校につき4人までとします。</p>
<p>経 済 学 部</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持ち、学業成績、人物ともに優れ、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科の学習成績の状況が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</p>
<p>共 通</p>	<p>(注) ① 高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ② 「2022年3月に卒業見込みの者」には、「2021年4月以降に卒業した者」を含みます。</p>

2. 出願上の注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜，免除する学校推薦型選抜を含めて）への出願は，1つの大学・学部に限られます。
- (2) 法学部「学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）」志願者は，法学部「学校推薦型選抜Ⅰ」に不合格になった場合でも，法学部が実施する「学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (3) 経済学部「学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）」志願者は，経済学部「学校推薦型選抜Ⅰ」に不合格になった場合でも，経済学部が実施する「学校推薦型選抜ⅡA・学校推薦型選抜ⅡB（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (4) この学校推薦型選抜に不合格になった場合でも，前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，合計3つの大学・学部に出願することができます。

3. 選抜方法

【教育学部】

小論文，面接及び口頭試問の総合点により選抜します。

面接では，調査書，推薦書，志望理由書，資格及び活動報告を含め，総合的に評価します。

(注) 本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔1〕 配点

区 分		小論文	面接・調査書等	口頭試問	計	
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	(ア) 幼児教育に関心をもつ者	100	150	100	350
	小学校教育コース	(イ) 小学校教育に関心をもつ者	100	200		300
		(ウ) 特別支援教育に関心をもつ者	100	200		300

〔2〕 小論文

小論文は，大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。なお，評価に際しては，読解力や表現力などの基礎的能力に重点をおきながら総合的に評価します。

〔3〕 面接・調査書等

面接は，大学生としての資質，創造的な探求心や勉学意欲，人間性，そして，広く教育界での活躍をめざす者としての適性などの観点から行います。小学校教育コースの面接は，個人面接と集団面接を行います。評価は，調査書，推薦書，志望理由書，資格及び活動報告を含め総合的に行います。

〔4〕 口頭試問

口頭試問	区分 (ア)「幼児教育に関心をもつ者」に志願する者には，大学が準備した素材を用いて特定の年齢の乳幼児に対する表現力を問う課題（試験当日に指定します。）を含んだ口頭試問を個別に行い，保育実践及び乳幼児発達への関心・理解を問います。口頭試問の前には，一定の準備時間を設けます。なお，持参した資料・メモ等は使用できません。
------	--

【法 学 部】

小論文及び面接（調査書、志望理由書の評価も含まれます。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 目 的

香川大学法学部は、法律・政治の分野で実社会に貢献できる人材を送り出すため、少人数教育を重視し、ゼミナール形式の授業を4年間一貫して実施しています。そこで、本学部を志望する学生には、活発なディスカッションを通して、現代社会に対する鋭い問題意識を自ら育成し、自己の潜在的な能力を伸ばしていくことが求められます。従来型のペーパーテストでは十分に評価できないそうした資質を持った学生を、グループ・ディスカッション方式を導入することよりの確に把握することが、この学校推薦型選抜を実施する目的です。

〔2〕 配 点

小 論 文	面 接	計
100	120	220

〔3〕 小論文

設問に対する1,000字程度の論述を行います。問題は、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。評価の観点は、受験者の論理的思考力、文章表現力、説得力などです。

〔4〕 面 接

面接は、グループ・ディスカッションを評価する方式で行います。グループ・ディスカッションは、ある問題の是非をめぐって議論を戦わせるディベート型ではなく、提示されたテーマについて問題そのものの理解と解決の方策を議論する問題解決型のもので、ディスカッションのテーマは、現代の社会に関するものです。

受験者は、テーマについて40分～60分程度のディスカッションを行います。その際、論理的思考力、説得力、他者の意見を理解し整理する能力、議論を積極的に発展させる能力などを多面的に評価します。

受験者には、本年度のディスカッションのテーマを事前に送付します。

【経済学部】

小論文、面接及び調査書（学習成績の状況は出願要件であり、特記事項のみを評価します。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 配 点

小 論 文	面 接	調 査 書	計
60	60	10	130

〔2〕 小論文

小論文の試験問題は、素材となる資料を提示し、その資料について受験者の論述を求めるといった形式を取ります。評価の観点には、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。素材は、経済、社会等に関する分野から選ばれます。

〔3〕 面 接

個人面接とし、所要時間は10分程度とします。志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

〔4〕 調査書の特記事項

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるものをいいます。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。

なお、上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

Ⅵ 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

1. 推薦要件

<p>法 学 部</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>推薦人員は、1校につき4人までとします。</p>
<p>経 済 学 部</p>	<p>推薦ⅡA</p> <p>次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 人物的に優れ、勉学意欲が旺盛であり、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科の学習成績の状況が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</p>
<p>推 薦ⅡB</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校の農業、水産、工業、商業、家庭、厚生、商船、美術、音楽など本学が専門教育を主とすると認める学科^{〔注1〕}を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 人物的に優れ、勉学意欲が旺盛であり、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科^{〔注2〕}の学習成績の状況が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注1〕「本学が専門教育を主とすると認める学科」には、専門教育に関する科目を主として履修する普通科の商業コース、総合学科の商業系列などを含む。 〔注2〕本学が専門教育を主とすると認める学科については、これらのうち1教科を専門教育に係る教科に読み替えても良い。</p> <p>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</p>
<p>医 学 部 医 学 科</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者 (2) 高等学校における学習成績が優秀で、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属する者</p>

<p>医学部医学科</p>	<p>(3) 高等学校において、物理、化学及び生物（理数科にあつては、理数物理、理数化学及び理数生物）のうちから2科目以上、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科にあつては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）並びにコミュニケーション英語Ⅲ及び英語表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者 ただし、教育課程の編成等により履修内容が上記科目区分によらない場合、また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件にしている者については、履修科目について弾力的に取り扱う余地がありますので、高等学校長を通じて必ず2021年10月1日（金）までに問い合わせてください。所定の期日までに問い合わせのない場合は、出願を受理しません。</p> <p>(4) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>【推薦人員】 卒業見込者：1校につき8人までとします。 既卒者：1校につき1人までとします。ただし、香川県内の高等学校については、1校につき7人までとします。</p> <p>「地域枠（学校推薦）」は募集人員5人となるよう調整中です。 人数については予定であり、変更があり得ます。募集人員が確定次第、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/）ですみやかに公表します。 詳細は、2022年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項を参照してください。</p> <p>前記、医学部医学科の要件すべてに該当し、かつ、次の要件すべてに該当する者であつて、人物が優秀で、将来、香川県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者に限ります。 なお、地域枠（学校推薦）に出願する場合には、通常の推薦枠と併せて出願することができます。</p> <p>(1) 香川県内の高等学校を2020年4月以降に卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者 (2) 「香川県医学生修学資金」※の貸付けを受ける者 (3) 将来、県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）、医師の業務に従事する意志のある者 ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。</p>
<p>創造工学部</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</p>

<p>農 学 部</p>	<p>次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2021年3月に卒業した者及び2022年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年を2022年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</p>
<p>共 通</p>	<p>(注) ① 高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ② 「2022年3月に卒業見込みの者」には、「2021年4月以降に卒業した者」を含みます。</p>

2. 出願上の注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜，免除する学校推薦型選抜を含めて）への出願は，1つの大学・学部に限られます。
- (2) 法学部「学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）」は，法学部「学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）」に不合格になった場合でも，出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (3) 経済学部「学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）」は，経済学部「学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）」に不合格になった場合でも，出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (4) この学校推薦型選抜に不合格になった場合に備えて，前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，合計3つの大学・学部に出願することができます。

3. 選抜方法

〔1〕 大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は，別表（68～69ページ）のとおりです。

大学入学共通テストにおいて，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間に2科目受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕 個別学力検査（医学部医学科のみ）

個別学力検査の選抜方法は，別表（68～69ページ）のとおりです。

〔3〕 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等は，別表（68～69ページ）のとおりです。

〔4〕 各学部の選抜方法等について

【法 学 部】

- ・ 調査書，志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストで，数学，外国語の2教科を受験している場合には，高得点の教科の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は，リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，リーディングのみとします。
- ・ 調査書については，地歴・公民の成績を重視し，さらに学業以外の活動についても評価します。

【経済学部】

- ・ 調査書（学習成績の状況は出願要件であり特記事項のみを評価します。）及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。
- ・ 「調査書の特記事項」
調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。
なお、上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

【医学部医学科】

- ・ 学校長から提出される推薦書・調査書内容及び本学部が実施する小論文・面接の結果を総合的に判断し、大学入学共通テストの成績を参考にして合格者を決定します。
- ・ 大学入学共通テストの地歴及び公民について、2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストの『英語』は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《合否判定基準》

- ア 小論文と面接評価の総合点で順位を決定します。
ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。
- イ 本学が指定した大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、面接の結果をもって総合点の如何にかかわらず不合格となることがあります。
- ウ 地域枠（学校推薦）にあつては、上記に加え香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。
※上記の合否判定基準に関する個別の問い合わせについては、応じられません。

① 小論文

小論文は、単なる作文力のテストではなく、学校長から提出される推薦書及び調査書の記載内容等を補完するとともに、大学入学共通テストではみることができない論理的思考力、倫理観、社会性等をみるために行います。

小論文の出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。なお、小論文Ⅱは出題3題のうち2題を選択して解答します。

② 面接

面接は、医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行います。なお、志望理由書、推薦書、調査書を面接の重要な資料として用います。地域枠（学校推薦）にあっては、通常の面接に加え、香川県による面接があります（募集については調整中）。

【創造工学部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストの理科について、基礎を付さない科目から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。
- ・ 調査書については、勉学状況、特記事項を評価します。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動、文化活動、スポーツ活動などにおいて実績を挙げているもの、また、優れた特技及び英語検定、TOEIC、TOEFL、情報技術検定、電気工事士などの資格を取得しているものを評価します。

【農学部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。推薦書は出願要件書類として扱います。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。
- ・ 調査書については、修学状況、特記事項を評価します。特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」の中で、特に顕著な実績を挙げている学内・学外での活動（文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動など）、課題研究、資格・検定等（英語検定など）です。

別表 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査について

学部・学科等名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
法学部	(昼間コース) 法学科	国	【国語】 必須		調査書・志望理由書
		数	(【数Ⅰ】、【数Ⅰ・数A】) から1科目 (【数Ⅱ】、【数Ⅱ・数B】、【簿・会】、【情報】) から1科目 } 2科目 } から1教科		
		外	(【英】、【独】、【仏】、【中】、【韓】) から1科目 [2教科3科目(数学の場合)又は2教科2科目(外国語の場合)]		
経済学部 (推薦ⅡA・ 推薦ⅡB)	(昼間コース) 経済学科	国	【国語】 必須		調査書
		数	(【数Ⅰ】、【数Ⅰ・数A】) から1科目 (【数Ⅱ】、【数Ⅱ・数B】、【簿・会】、【情報】) から1科目		
		外	(【英】、【独】、【仏】、【中】、【韓】) から1科目 [3教科4科目]		
医学部	医学科	国	【国語】 必須	その他	小論文、面接 (志望理由書、 推薦書、調査書 を用いる)
		地歴	(【世B】、【日B】、【地理B】) から1科目		
		公民	(【現社】、【倫】、【政経】、【倫・政経】) から1科目		
		数	【数Ⅰ・数A】 【数Ⅱ・数B】 必須		
		理	(【物】、【化】、【生】) から2科目		
		外	【英】 必須 [5教科7科目]		
創造工学部	創造工 学科	数	(【数Ⅰ】、【数Ⅰ・数A】) から1科目 (【数Ⅱ】、【数Ⅱ・数B】、【情報】) から1科目		調査書・志望理由書
		理	(【物】、【化】、【生】、【地学】) から1科目		
		外	(【英】、【独】、【仏】、【中】、【韓】) から1科目 [3教科4科目]		
農学部	応用生物科学科	数	(【数Ⅰ】、【数Ⅰ・数A】) から1科目 (【数Ⅱ】、【数Ⅱ・数B】、【簿・会】、【情報】) から1科目		提出書類
		理	(【物】、【化】、【生】、【地学】) から2科目		
		外	(【英】、【独】、【仏】、【中】、【韓】) から1科目 [3教科5科目]		

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

《共通》

「 」内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、「 」内の記載を1科目と数えます。(例:【数Ⅰ・数A】・・・1科目、【簿・会】・・・1科目)

《法学部》

1 【簿記・会計】、【情報関係基礎】は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

2 外国語で【英語】を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

3 数学、外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。

《経済学部》

1 外国語で【英語】を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《医学部》

1 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

2 外国語【英語】は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《創造工学部》

1 理科について、基礎を付さない科目から2科目を受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

2 外国語で【英語】を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《農学部》

1 【簿記・会計】、【情報関係基礎】は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

2 外国語で【英語】を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

学部	大学入学共通テストの配点等							個別学力検査の配点			配点合計		
	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文		調査書・ 志望理由書	個別学力検査 配点計
法学部	200			①	②	①	②	*200	400		60	60	460
				*100	*100								
				(2科目)									
経済学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書	個別学力検査 配点計	320
	100			①	②	①	②	100	300		20	20	
				50	50								
医学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	面 接	個別学力検査 配点計	450
	★	★		①	②	①	②	★	★	300	150	450	
				★	★								
創造工学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書・ 志望理由書	個別学力検査 配点計	700
				①	②	①	②	200	600		100	100	
				100	100								
農学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	提出書類	個別学力検査 配点計	850
				①	②	①	②	200	800		50	50	
				100	100								

(注) 【大学入学共通テストの配点等】欄

《共 通》

1 *印は選択教科・科目を表します。

2 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

《法学部》

外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

《経済学部》

外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「100点」とします。

《医学部医学科》

医学科学学校推薦型選抜に課している大学入学共通テスト（★印）は高等学校における基礎学力の修得度を見るために利用します。

《創造工学部》

外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

《農学部》

外国語で「英語」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

Ⅶ 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する総合型選抜）

【教育学部】総合型選抜Ⅰ

〔1〕 選抜方法等

募 集 人 員	10人 (技術教育に関心をもつ者 2人) (家庭科教育に関心をもつ者 2人) (音楽教育に関心をもつ者 2人) (美術教育に関心をもつ者 2人) (保健体育教育に関心をもつ者 2人) ※専門領域の募集人員は目安の数であり、選考の結果合格ラインに達せず充足できない場合は、定員を一般選抜に回す場合があります。
出 願 要 件	次の各号の要件(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)に該当する者です。 (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年5月31日文部省告示第47号) オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格(合格見込みを含む。)した者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの カ 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定(平成17年4月廃止)に合格した者 キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの (4) 合格した場合は、入学を確約できる者 [注] 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2022年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。 [注] 本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。詳細については公表済みの「2022年度香川大学 教育学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項」を参照してください。
選 抜 方 法 等	【第1次選抜】 専門領域ごとの方法で書類選考により選抜します。 【第2次選抜】 グループ・ディスカッション(リフレクション・レポートを含む)、面接・調査書等の評価及び口頭試問もしくは実技試験のいずれかを行い、出願時の提出書類の評価とあわせて総合的に判断して選抜します。
出 願 期 間	2021年9月1日(水)～9月7日(火)
選 抜 期 日	【第1次選抜】 2021年9月中旬～(書類選考) 【第2次選抜】 2021年10月2日(土)
合 格 者 発 表 日	【第1次選抜】 2021年9月24日(金) 【最終合格者】 2021年11月1日(月)
そ の 他	その他の詳細については、公表済みの「2022年度香川大学 教育学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項」を参照してください。本要項は、香川大学ホームページ(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/)からダウンロードできます。

〔2〕 配 点

2022年度教育学部総合型選抜Ⅰにおける個別学力検査の配点は、次のとおりです。

学 部	課 程 ・ 学 科	区 分	グループ・ディス	個人面接・	口頭試問・	計
			カッション※	調査書等	実技試験	
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学部総合型選抜Ⅰ	100	150	200	450

※グループ・ディスカッションには、リフレクション・レポートを含む。

【医学部（看護学科）】香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試

〔1〕 選抜方法等

募 集 人 員	25人
出 願 要 件	<p>次の各号の要件（1）～（3）のいずれかに該当し、かつ（4）に該当する者です。</p> <p>（1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者</p> <p>（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者</p> <p>（3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者</p> <p>キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>（4）合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2022年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。</p> <p>〔注〕本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。詳細については公表済みの「2022年度香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試学生募集要項（総合型選抜Ⅰ）」を参照してください。</p>
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選抜】出願書類の評価を総合して選抜を行います。</p> <p>【第2次選抜】小論文と面接の結果を総合的に判断して選抜します。</p>
出 願 期 間	2021年9月1日（水）～9月7日（火）
選 抜 期 日	<p>【第1次選抜】2021年9月中旬～（書類選考）</p> <p>【第2次選抜】2021年10月2日（土）</p> <p>（面接等の日時については、志願者数によっては翌日にわたることがあります。）</p>
合 格 者 発 表 日	<p>【第1次選抜】2021年9月24日（金）</p> <p>【最終合格者】2021年11月1日（月）</p>
そ の 他	その他の詳細については、公表済みの「2022年度香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試学生募集要項（総合型選抜Ⅰ）」を参照してください。本要項は、香川大学ホームページ（ https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/ ）からダウンロードできます。

〔2〕 配 点

2022年度香川大学 ナーシングプロフェッショナル育成入試（総合型選抜Ⅰ）における個別学力検査の配点は、次のとおりです。

学 部	学 科	区 分	個別学力検査		
			小論文	面接	計
医学部	看護学科	香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試	200	100	300

【創造工学部】総合型選抜Ⅰ

〔1〕 選抜方法等

募集人員	<p>45人 ※高等学校（中等教育学校を含む。）の工業、商業、情報などに関する専門教育を主とする教育課程（本学が普通科と認める教育課程を除く。）を履修した者の優先枠を各コースに設け、専門教育を主とする教育課程履修者1名以上を合格者とします。ただし、その受験者が合格基準に達していない場合は、この限りではありません。</p> <p>（造形・メディアデザインコース 10人） （建築・都市環境コース 6人） （防災・危機管理コース 5人） （情報システム・セキュリティコース 6人） （情報通信コース 6人） （機械システムコース 3人） （先端マテリアル科学コース 9人）</p>
出願要件	<p>次の各号の要件（1）～（3）のいずれかに該当し、かつ（4）に該当する者です。</p> <p>（1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び2022年3月修了見込みの者</p> <p>（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者</p> <p>（3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者</p> <p>キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>（4）合格した場合は、入学を確約できる者</p> <p>〔注〕高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2022年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。</p> <p>〔注〕本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。詳細については公表済みの「2022年度香川大学創造工学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項」を参照してください。</p>
選抜方法等	<p>【第1次選抜】コースごとの方法で、書類選考により選抜を行います。</p> <p>【第2次選抜】第1次選抜合格者に対し、コースごとに課した選抜方法により総合的に評価し、選抜を行います。</p>
出願期間	2021年9月1日（水）～9月7日（火）
選抜期日	<p>【第1次選抜】2021年9月中旬～（書類選考）</p> <p>【第2次選抜】2021年10月23日（土）</p>
合格者発表日	<p>【第1次選抜】2021年10月1日（金）</p> <p>【最終合格者】2021年11月1日（月）</p>
その他	<p>その他の詳細については、公表済みの「2022年度香川大学 創造工学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項」を参照してください。本要項は、香川大学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/）からダウンロードできます。</p>

〔2〕 配 点

2022年度創造工学部総合型選抜 I における配点における個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

学 部	学 科	コ ー ス	配 点				
			第1次選抜での得点(志望理由書, 調査書, 課題に対するレポート)	口頭試問またはプレゼンテーション	小論文	面接	計
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザイン	120	360		120	600
		建 築 ・ 都 市 環 境					
		防 災 ・ 危 機 管 理					
		情報システム・セキュリティ					
		情 報 通 信					
		機 械 シ ス テ ム		240	240		
		先 端 マ テ リ ア ル 科 学		360		120	

【農学部】総合型選抜Ⅰ

〔1〕 選抜方法等

募 集 人 員	25人 ※高等学校（中等教育学校を含む。）の専門教育を主とする学科（本学が普通科と認める学科を除く。）及び総合学科を履修した者の優先枠を設け、これらの教育課程履修者2名以上を合格者とします。ただし、その受験者が合格基準に達していない場合は、この限りではありません。
出 願 要 件	次の各号の要件（1）～（3）のいずれかに該当し、かつ（4）に該当する者です。 （1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者 （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号） オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者 キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの （4）合格した場合は、入学を確約できる者 【注】高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2022年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。 【注】本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。詳細については公表済みの「2022年度香川大学農学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項」を参照してください。
選 抜 方 法 等	【第1次選抜】 出願書類の評価を総合して選抜を行います。 【第2次選抜】 授業理解力テスト（講義を受けての記述式テスト）と面接を行います。その結果を総合評価し、最終合格者を選抜します。
出 願 期 間	2021年9月6日（月）～9月10日（金）
選 抜 期 日	【第1次選抜】 2021年9月下旬～（書類選考） 【第2次選抜】 2021年10月23日（土）
合 格 者 発 表 日	【第1次選抜】 2021年10月8日（金） 【最終合格者】 2021年11月1日（月）
そ の 他	その他の詳細については、公表済みの「2022年度香川大学農学部総合型選抜Ⅰ学生募集要項」を参照してください。本要項は、香川大学ホームページ（ https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/ ）からダウンロードできます。

〔2〕 配 点

2022年度農学部総合型選抜Ⅰにおける個別学力検査の配点は、次のとおりです。

学 部	学 科	区 分	個別学力検査		
			授業理解力テスト	面接	計
農学部	応用生物科学科	農学部総合型選抜Ⅰ	100	100	200

VIII 社会人選抜（夜間主コース）

〔1〕 選抜方法等

実施学部・学科名	法 学 部 (夜間主コース) 法 学 科
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、2022年3月31日までに22歳に達し、社会人としての経験を2年以上有する者</p> <p>(2) 高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者</p> <p>(3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、2022年3月31日までに22歳に達し、社会人としての経験を2年以上有する者</p> <p>(4) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者</p> <p>(5) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者</p> <p>(6) 通常の課程による12年の学校教育を2022年3月修了見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者</p> <p>(7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者に2022年3月31日までに該当する見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者</p> <p>〔注〕①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「2022年3月に卒業見込みの者」には、「2021年4月以降に卒業した者」を含みます。</p>
選 抜 方 法 等	小論文及び面接（志望理由書の評価も含みます。）の総合点により選抜します。
出 願 期 間	2021年12月6日（月）～ 12月10日（金）
選 抜 期 日	2022年1月22日（土）
合 格 者 発 表 日	2022年2月15日（火）
そ の 他	その他の詳細については、8月下旬に公表予定の「2022年度社会人選抜（夜間主コース）学生募集要項」を参照してください。

実施学部・学科名	経済学部 (夜間主コース) 経済学科
募集人員	10人
出願要件	<p>次のいずれかに該当する者です。</p> <p>(1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、2022年3月31日までに22歳に達し、社会人としての経験を2年以上有する者</p> <p>(2) 高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者</p> <p>(3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、2022年3月31日までに22歳に達し、社会人としての経験を2年以上有する者</p> <p>(4) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者</p> <p>(5) 高等学校を2022年3月に卒業見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者</p> <p>(6) 通常の課程による12年の学校教育を2022年3月修了見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者</p> <p>(7) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者に2022年3月31日までに該当する見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者</p> <p>[注] ①高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。</p> <p>②「2022年3月に卒業見込みの者」には、「2021年4月以降に卒業した者」を含みます。</p>
選抜方法等	<p>小論文及び面接の総合点により選抜します。</p> <p>ただし、出願要件の(1)～(4)に該当する者は、志望理由書の審査による小論文の免除を申請することができます。審査の結果、小論文が免除となる場合は、文書をもって通知します。</p>
出願期間	2021年12月6日(月)～12月10日(金)
選抜期日	2022年1月22日(土)
合格者発表日	2022年2月15日(火)
その他	その他の詳細については、8月下旬に公表予定の「2022年度社会人選抜(夜間主コース)学生募集要項」を参照してください。

〔2〕 配 点

2022年度 社会人選抜（夜間主コース）における個別学力検査の配点は、次のとおりです。

学 部	区 分	個別学力検査		計
		小論文	面 接	
法 学 部	（ 夜 間 主 コ ー ス ） 法 学 科	100	90	190
経 済 学 部	（ 夜 間 主 コ ー ス ） 経 済 学 科	100	100	200

Ⅹ 私費外国人留学生選抜

実施学部等名	法学部（昼間コース）、経済学部（昼間コース）、医学部（医学科）、創造工学部、農学部
募集人員	上記学部等ごとにそれぞれ若干人
出願資格	<p>私費外国人留学生選抜に出願できる者は、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において、在留資格「留学」を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者で、次の（１）～（７）のいずれかに該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2021年度（令和３年度）又は2020年度（令和２年度）日本留学試験」^{〔注〕}を受験した者です。</p> <p>（１）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2022年３月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>（２）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>（３）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>（４）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>（５）グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>（６）外国において、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び2022年３月31日までに修了見込みの者</p> <p>（７）本学において、個別の入学資格審査により、外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年３月31日までに18歳に達する者。</p> <p>〔注〕本学においては、2021年度（令和３年度）又は2020年度（令和２年度）のいずれかの日本留学試験の成績を利用します（両年度とも受験している場合は、志願者が提出した年度の成績を用います。）。</p> <p>〔注〕農学部においては、日本大学連合学力試験の成績を利用した選抜も実施します。</p> <p>〔注〕本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。詳細については、8月下旬に公表予定の「2022年度香川大学私費外国人留学生選抜学生募集要項」を参照してください。</p>
選抜方法等	<p>【法学部（昼間コース）】 小論文（日本語）、面接及び提出書類を総合して選抜します。</p> <p>【経済学部（昼間コース）、創造工学部、農学部】 面接及び提出された書類を審査し、その結果を総合して選抜します。</p> <p>【医学部（医学科）】 学力試験、面接及び提出書類を総合して選抜します。</p>
出願期間	上記、左記及びその他の詳細については、8月下旬に公表予定の「2022年度香川大学私費外国人留学生選抜学生募集要項」を参照してください。
選抜期日	
合格者発表日	
その他	

X 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等、受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教員等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害等のある者については、申出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせください。

区 分	障 害 等 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・ 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・ 肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・ 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・ 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害 (ADHD, 自閉症等), パニック障害, 頻尿

また、医学部に関しては、心身の障害の程度により、卒業後の資格試験（国家試験）に合格しても「医師」「看護師」等の免許が交付されないことがあります。

関係法令等は、医学部ホームページ (<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/>) を参照してください。

〔1〕 相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

申請書の様式は、本学ホームページ (https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge/) からダウンロードしてください。

〔2〕 問い合わせ先

香川大学入試グループ 〒760-8521 高松市幸町1番1号 TEL (087) 832-1182

XI 出願資格審査について

本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

〔1〕 申請期限

①総合型選抜Ⅰ（教育学部）

2021年7月30日（金）17時必着

②総合型選抜Ⅰ（創造工学部）

2021年8月6日（金）17時必着

③総合型選抜Ⅰ（農学部）

2021年8月20日（金）17時必着

④香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試（医学部看護学科）

2021年7月9日（金）17時必着

⑤社会人選抜

2021年11月29日（月）まで（必着）

⑥私費外国人留学生選抜

申請期限は学部によって異なります。詳細は私費外国人留学生選抜学生募集要項を確認してください。

⑦一般選抜

2022年1月21日（金）まで（必着）

〔2〕 審査の時期

申請書受理後、随時行うものとします（審査期間として2週間程度を要します。）。

〔3〕 ① 出願資格審査申請書（本学所定の様式）※

② 修了（卒業）証明書又は修了（卒業）見込証明書

③ 成績証明書又はこれに準ずるもの

④ 修業年限、カリキュラム等が記載された書類

⑤ 返信用封筒（長形3号の封筒に704円分（定形50g以内の簡易書留・速達料金分）の切手を貼り、申請者の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。）

※ 本学ホームページで入手できます。

(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge/)

〔4〕 申請書類

申請書の提出方法及び提出先

申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留・速達郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。

提出先 〒760-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試グループ 宛
TEL (087) 832-1182

XII 2022年度香川大学学生募集要項の公表時期及び請求方法

1. 公表及び配布時期

学生募集要項の種類		学部等	公表時期	配布方法
一般選抜学生募集要項（前期日程・後期日程）		教育学部・法学部・経済学部・医学部・創造工学部・農学部	11月上旬	PDFファイル
特別選抜	総合型選抜Ⅰ	教育学部 総合型選抜Ⅰ学生募集要項	公表済み	
	総合型選抜Ⅰ	香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試学生募集要項（総合型選抜Ⅰ）		
	総合型選抜Ⅰ	創造工学部 総合型選抜Ⅰ学生募集要項		
	総合型選抜Ⅰ	農学部 総合型選抜Ⅰ学生募集要項		
特別選抜	学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ学生募集要項（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）	8月下旬	
		学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）		
社会人選抜（夜間主コース）学生募集要項		法学部・経済学部	紙媒体	
私費外国人留学生選抜学生募集要項		法学部・経済学部・医学部医学科・創造工学部・農学部		

2. 入手方法

PDFファイルで配付する募集要項と、紙媒体で配付する募集要項があり、募集要項の種類によって配布方法が異なります（配布方法は上表で確認してください）。入手方法については以下をご覧ください。

〔1〕 PDFファイルで配布する募集要項

香川大学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/）から募集要項のPDFファイルをダウンロードできます。

〔2〕 紙媒体で配布する募集要項

（1） 本学のホームページから請求

本学のホームページから直接「 テレメール」「 モバっちょ」等による請求ができます。請求方法等は香川大学ホームページ「資料請求」（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/）をご覧ください。

（2） 郵送で請求（返信用封筒を大学に郵送する）

大学へ直接郵送で資料を請求することができます。請求方法等は香川大学ホームページ「大学へ郵送で請求」（<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/catalogs/reply/>）をご覧ください。

（注） 学生募集要項と併せて「学部案内」の送付を希望する場合は、各学部（請求先は裏表紙を参照）あてに請求してください。

（3） 直接来学して受け取る

9時～17時に香川大学入試グループ、広報室及び各学部学務係（医学部は学務課）で配付します。※土曜日、日曜日、祝・休日、本学の夏季一斉休業期間（8月中旬）及び12月29日～1月3日を除く。

XIII 入試情報サービス

入試情報ホームページ

本学では、ホームページで、入学試験等に関する最新情報を提供していますので、ご利用ください。

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

XIV 2021年度 香川大学入学者選抜試験実施結果

2021年3月31日

学部	区分	募集人員	募集内訳 A	志願者数 B	志願倍率 B/A	受験者数 C	受験倍率 C/A	合格者数 D	追加 合格者数	競争率 B/D	入学 手続者数		
教育学部	学校教育教員養成課程	160	総合	10	44	4.4	44	4.4	10	0	4.4	10	
			推薦	34	128	3.8	128	3.8	36	0	3.6	36	
			前期	91	196	2.2	184	2.0	100	0	2.0	97	
			後期	25	299	12.0	110	4.4	28	0	10.7	22	
			計	160	667	4.2	466	2.9	174	0	3.8	165	
法学部	昼間 法学科(昼間)	150	推薦Ⅰ	10	28	2.8	28	2.8	11	0	2.5	11	
			推薦Ⅱ	30	77	2.6	77	2.6	38	0	2.0	38	
			前期	75	175	2.3	144	1.9	91	0	1.9	81	
			後期	35	245	7.0	63	1.8	38	0	6.4	21	
			※私費 計	若干人	※ 4	※ 4	※ 1	0	※ 1	0	※ 2.9	※ 151	
	夜間主 法学科(夜間主)	10	社会人 計	10	4	0.4	4	0.4	3	0	1.3	3	
			社会人 計	10	4	0.4	4	0.4	3	0	1.3	3	
	学部計	学部計	160	推薦	40	105	2.6	105	2.6	49	0	2.1	49
				前期	75	175	2.3	144	1.9	91	0	1.9	81
				後期	35	245	7.0	63	1.8	38	0	6.4	21
				夜間主 計	10	4	0.4	4	0.4	3	0	1.3	3
				※私費 計	若干人	※ 4	※ 4	※ 1	0	※ 1	0	※ 2.9	※ 154
				計	160	529	3.3	316	2.0	181	0	2.9	154
	経済学部	昼間 経済学科(昼間)	240	推薦Ⅰ	50	149	3.0	149	3.0	51	0	2.9	51
				推薦ⅡA	40	125	3.1	125	3.1	45	0	2.8	45
推薦ⅡB				5	13	2.6	13	2.6	5	0	2.6	5	
前期				110	285	2.6	229	2.1	139	0	2.1	125	
後期				35	377	10.8	123	3.5	36	0	10.5	32	
※私費 計				若干人	※ 9	※ 8	※ 2	0	※ 1	0	※ 3.4	※ 258	
夜間主 経済学科(夜間主)		10	社会人 計	10	14	1.4	12	1.2	6	0	2.3	5	
			社会人 計	10	14	1.4	12	1.2	6	0	2.3	5	
学部計		学部計	250	推薦	95	287	3.0	287	3.0	101	0	2.8	101
				前期	110	285	2.6	229	2.1	139	0	2.1	125
				後期	35	377	10.8	123	3.5	36	0	10.5	32
				夜間主 計	10	14	1.4	12	1.2	6	0	2.3	5
				※私費 計	若干人	※ 9	※ 8	※ 2	0	※ 1	0	※ 3.4	※ 263
				計	250	963	3.9	651	2.6	282	0	3.4	263
医学部		医学科	109	推薦	30	65	2.2	65	2.2	30	0	2.2	30
	前期			79	382	4.8	331	4.2	79	1	4.8	79	
	※私費 計			若干人	※ 0	※ 0	※ 0	0	※ 0	0	※ 4.1	※ 109	
	計			109	447	4.1	396	3.6	109	1	4.1	109	
	看護学科	60	総合	25	134	5.4	134	5.4	27	0	5.0	27	
			前期	35	76	2.2	70	2.0	37	0	2.1	34	
			計	60	210	3.5	204	3.4	64	0	3.3	61	
	臨床心理学科	20	前期	20	76	3.8	74	3.7	22	0	3.5	22	
			計	20	76	3.8	74	3.7	22	0	3.5	22	
	学部計	学部計	189	推薦	30	65	2.2	65	2.2	30	0	2.2	30
総合				25	134	5.4	134	5.4	27	0	5.0	27	
前期				134	534	4.0	475	3.5	138	1	3.9	135	
※私費 計				若干人	※ 0	※ 0	※ 0	0	※ 0	0	※ 3.8	※ 192	
計				189	733	3.9	674	3.6	195	1	3.8	192	
創造工学部	創造工学科	330	総合	51	135	2.6	135	2.6	51	0	2.6	51	
			推薦	46	132	2.9	132	2.9	49	0	2.7	49	
			前期	184	379	2.1	330	1.8	215	0	1.8	197	
			後期	49	398	8.1	147	3.0	53	0	7.5	40	
			※私費 計	若干人	※ 6	※ 5	※ 2	0	※ 0	0	※ 2.8	※ 337	
			計	330	1,044	3.2	744	2.3	368	0	2.8	337	
農学部	応用生物科学科	150	総合	25	77	3.1	77	3.1	29	0	2.7	29	
			推薦	20	60	3.0	60	3.0	26	0	2.3	26	
			前期	105	197	1.9	168	1.6	115	0	1.7	104	
			※私費 計	若干人	※ 3	※ 3	※ 2	0	※ 0	0	※ 2.0	※ 159	
			計	150	334	2.2	305	2.0	170	0	2.0	159	
総合計	総合計	1,239	推薦	265	777	2.9	777	2.9	291	0	2.7	291	
			総合	111	390	3.5	390	3.5	117	0	3.3	117	
			前期	699	1,766	2.5	1,530	2.2	798	1	2.2	739	
			後期	144	1,319	9.2	443	3.1	155	0	8.5	115	
			夜間主 計	20	18	0.9	16	0.8	9	0	2.0	8	
			※私費 計	若干人	※ 22	※ 20	※ 7	0	※ 0	0	※ 3.1	※ 1,270	
			計	1,239	4,270	3.4	3,156	2.5	1,370	1	3.1	1,270	

※を付した数字は、私費外国人留学生選抜で外数である。

XV 2021年度 一般選抜合格者得点状況一覧

前期日程

区分	総合点				大学入学共通テスト				個別学力検査			
	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	配点
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース	859.4	701.8	741.2	1100	690	561.8	603.9	900	180	71	137.3	200
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コースA系	860.4	757.8	801.2	1100	705.4	619	649.1	900	178	114	152.1	200
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コースB系	792.8	713.4	747	1100	644.6	575.4	606.5	900	185	96	140.5	200
法学部	929.6	772.5	832.3	1200	692.6	553.4	619.4	900	285	139.5	212.9	300
経済学部	887	748	784.4	1100	730.4	601.5	640.3	900	181	104	144.1	200
医学部 医学科（一般枠）	1190.3	1056.1	1093.1	1400	631.9	546.2	587.8	700	583	455	505.3	700
医学部 看護学科	782.7	666.8	710	1000	624	510.5	559.9	800	195	90	150.1	200
医学部 臨床心理学科	1069.6	958.2	1001.9	1400	690.6	607.2	644.4	900	383	321	357.5	500
創造工学部 全コース Aタイプ	828.4	608.8	691.4	1100	700.8	493.8	583.7	900	196	10	107.7	200
創造工学部 造形メディアデザインコース(Bタイプ)	711.6	620.4	658.1	1000	562.4	456.8	514.8	800	193	100	143.3	200
農学部	801.4	621.4	684	1100	661.4	494.6	576	900	175	44	108.1	200

後期日程

区分	総合点				大学入学共通テスト				個別学力検査			
	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	配点	最高点	最低点	平均点	配点
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース	824	731	759.6	1100	677	585	636.4	900	164	74	123.2	200
法学部	915.7	812.5	863.7	1200	728.6	591.8	661.2	900	235.5	160.5	202.5	300
経済学部	893.6	810.4	840	1100	638.8	567.2	600.6	800	279	201	239.4	300
創造工学部	801.8	670.2	727.6	1000	729.8	591.2	648.5	900	94	52	79.1	100

<注意事項>

教育学部の学校教育教員養成課程の下記コース・系については、合格者が10人に満たないため、公表しません。

- ・前期日程「幼児教育コース」
- ・前期日程「中学校教育コースC系」
- ・後期日程「中学校教育コース」

医学部医学科の地域医療推進枠については、合格者が10人に満たないため、公表しません。

創造工学部の下記コース・タイプについては、合格者が10人に満たないため、公表しません。

- ・前期日程「防災・危機管理（Bタイプ）」

XVI 学外試験場について

本学では、創造工学部と農学部的一般選抜（前期日程）において、学外試験場（関西地区試験場）を設けます。

なお、一般選抜（後期日程）、学校推薦型選抜（大学入学共通テストを免除する，大学入学共通テストを課する），総合型選抜Ⅰ，社会人選抜（夜間主コース），私費外国人留学生選抜については、学外試験場は設けず，全て香川大学で試験を実施しますので，注意してください。

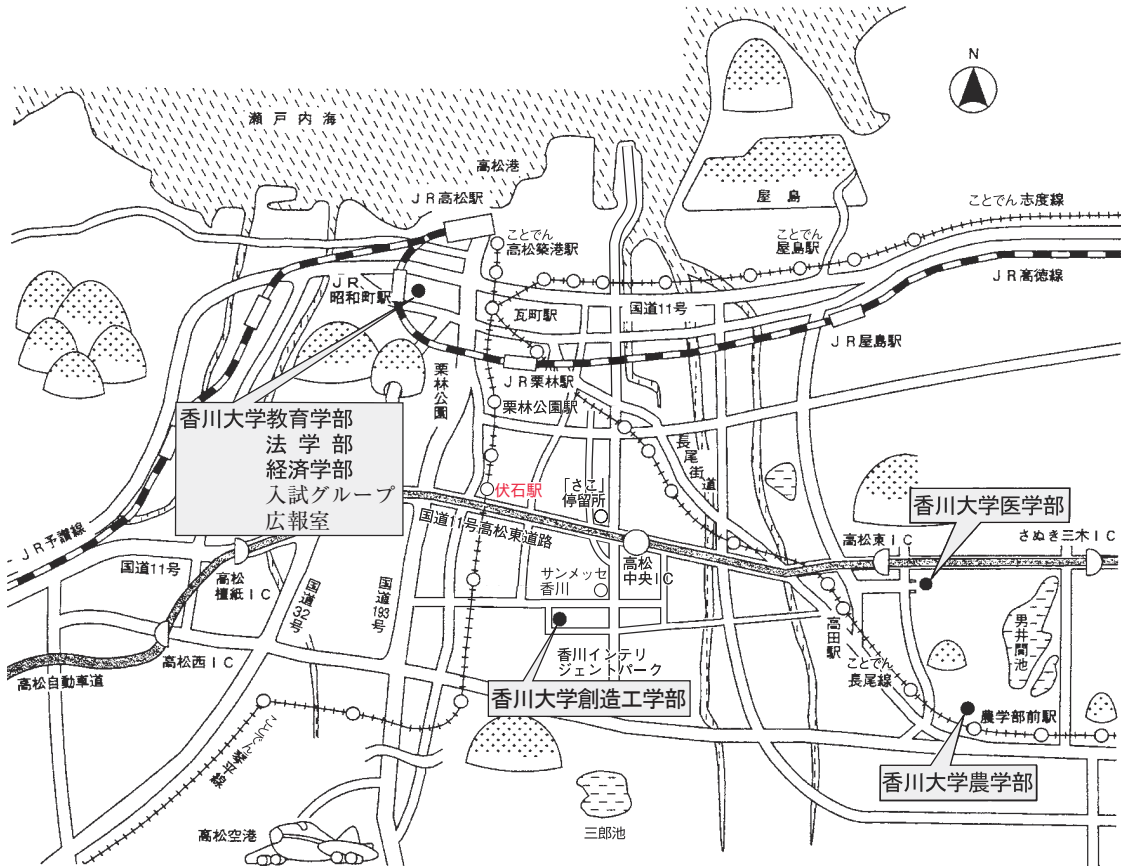
学部名	個別学力検査実施会場	
	香川大学試験場	関西地区試験場 【一般選抜（前期日程）のみ】
教育学部	教育学部（幸町北キャンパス） 高松市幸町1番1号	
法学部	法学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町2番1号	
経済学部	経済学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町2番1号	
医学部	医学部（三木町医学部キャンパス） 木田郡三木町大字池戸1750番地1	
創造工学部	創造工学部（林町キャンパス） 高松市林町2217番地20	大手前大学（さくら夙川キャンパス） 兵庫県西宮市御茶家所町6-42
農学部	農学部（三木町農学部キャンパス） 木田郡三木町大字池戸2393番地	

※ 本件に関する問い合わせ先

香川大学入試グループ TEL (087) 832-1182

（大手前大学に直接問い合わせることのないようお願いします。）

香川大学試験場案内図 (更新版)



教育学部・法学部・経済学部・入試グループ・広報室

J	R	高德線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m)
バ	ス	J R 高松駅発(高松駅前①②番のりば) ことでんバス ⑪下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」→「幸町」下車 徒歩2~3分(西へ150m) ことでんバス ⑬下笠居線・宮脇町経由便又は⑮香西線・宮脇町経由便 「高松駅」→「宮脇町」下車 徒歩2~3分(北へ150m) ことでんバス まちなカループバス ①東廻り ②西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ
		高松空港発 空港連絡バス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分~15分(西へ750m)
		タクシー J R 高松駅→香川大学 約10分 約800円

医学部

電	車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「高田駅」下車 バス5分 又は 徒歩25分(北東へ1.5km)	
バ	ス	J R 高松駅発(高松駅前⑦番のりば) ことでんバス ⑳高松医療センター・大学病院線 「高松駅」→「大学病院」下車 徒歩1分(北へ50m)	
タ	ク	シ	J R 高松駅→香川大学医学部 約30分 約4,000円

創造工学部

電	車	ことでん琴平線「高松築港駅」→「伏石駅」下車 バス9分	
バ	ス	J R 高松駅発(高松駅前⑧番のりば) ことでんバス ⑥⑤川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」→「香川大学創造工学部前」下車 徒歩1分(南へ50m) ことでんバス ⑥①川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(西へ500m)	
高	速	バス 高速バス「高松中央インター南」下車 北西へ徒歩3分(200m) 又は 「高松中央インターバスターミナル」下車 西へ徒歩5分(380m) ことでんバス ⑥①川島線・サンメッセ香川経由便 ⑥③西植田線 「さこ」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(500m) ※徒歩の場合、「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分(約1.8km) 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分(約2.0km)	
タ	ク	シ	J R 高松駅→香川大学創造工学部 約30分 約3,500円

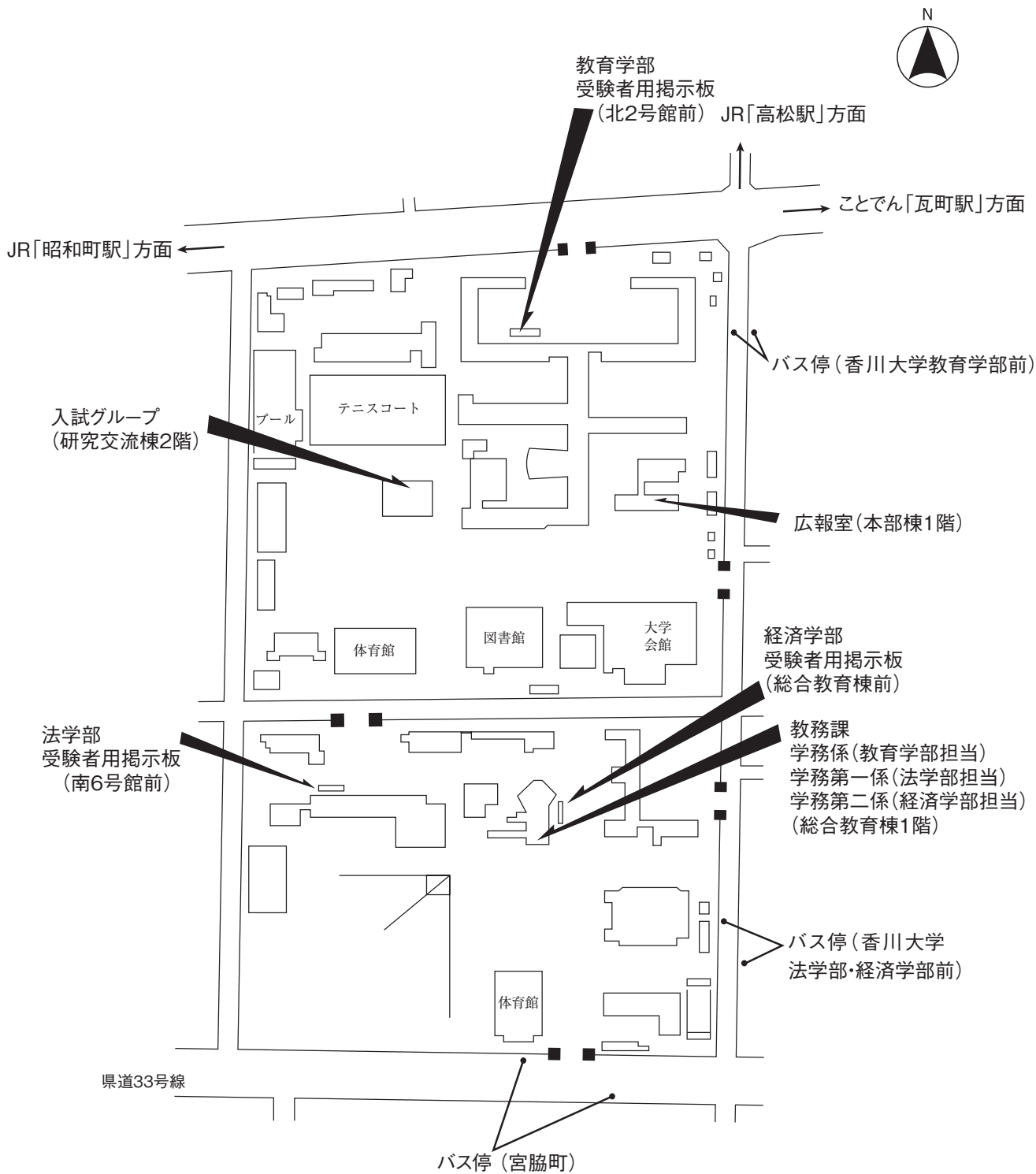
農学部

電	車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m)	
バ	ス	大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば)「高松駅」→「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m)	
タ	ク	シ	J R 高松駅→香川大学農学部 約40分 約4,400円

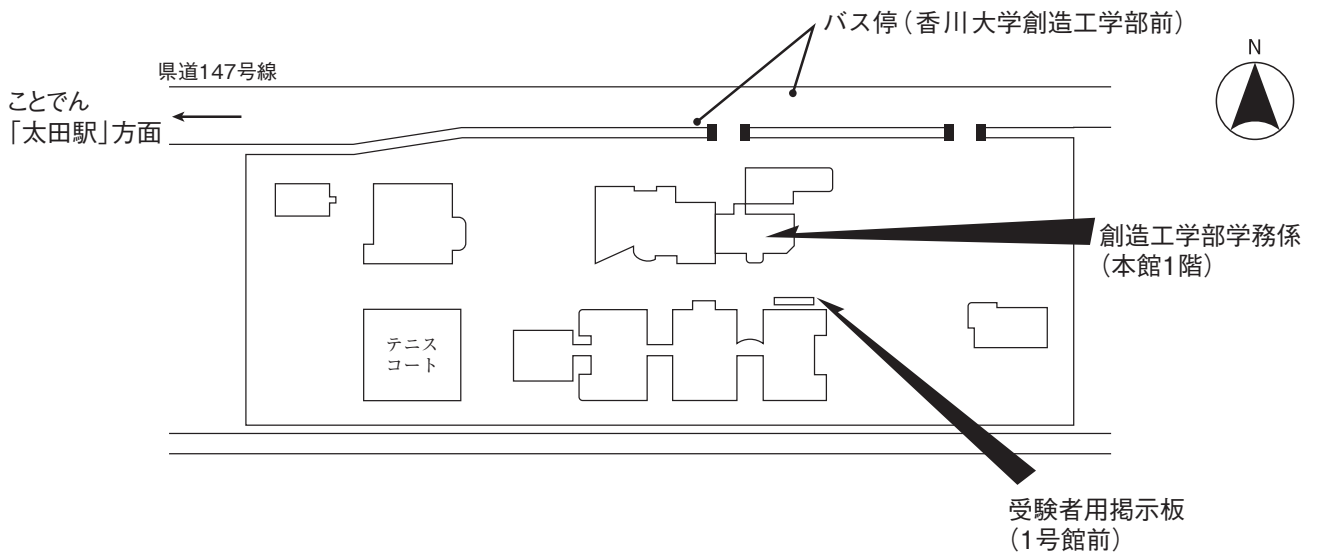
(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

香川大学建物配置図

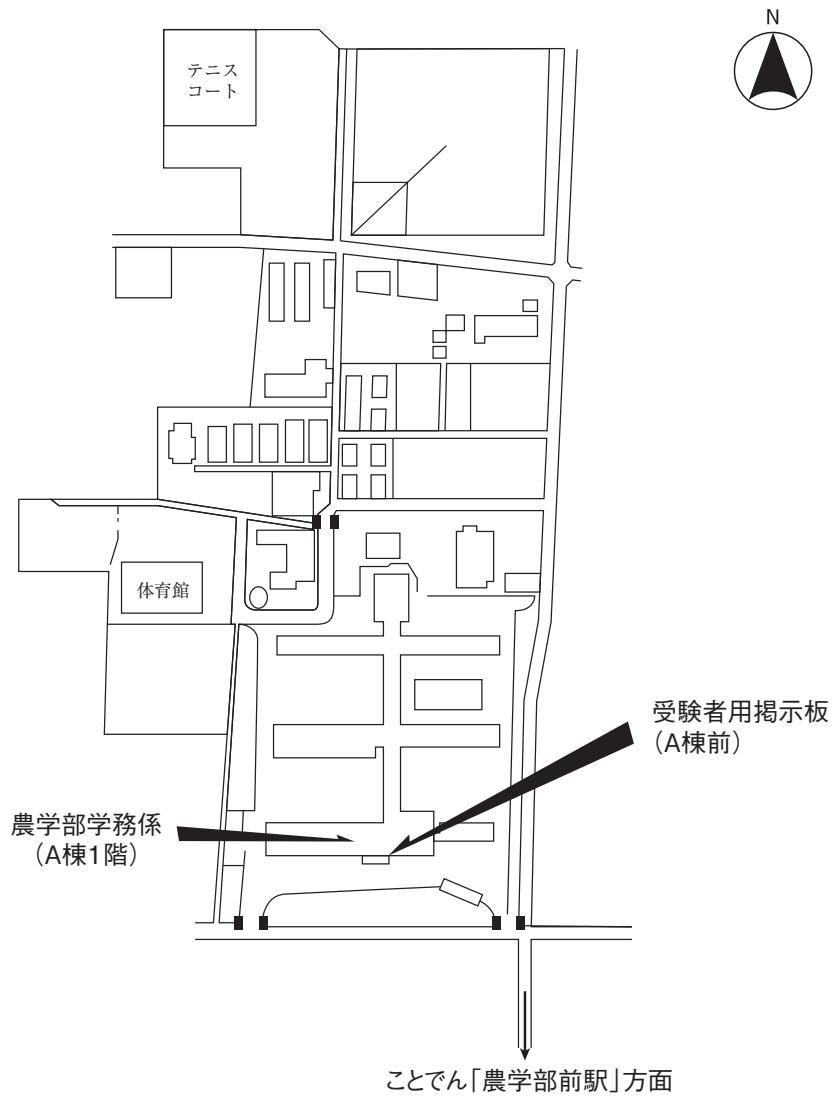
幸町北キャンパス (教育学部)
 幸町南キャンパス (法学部・経済学部)



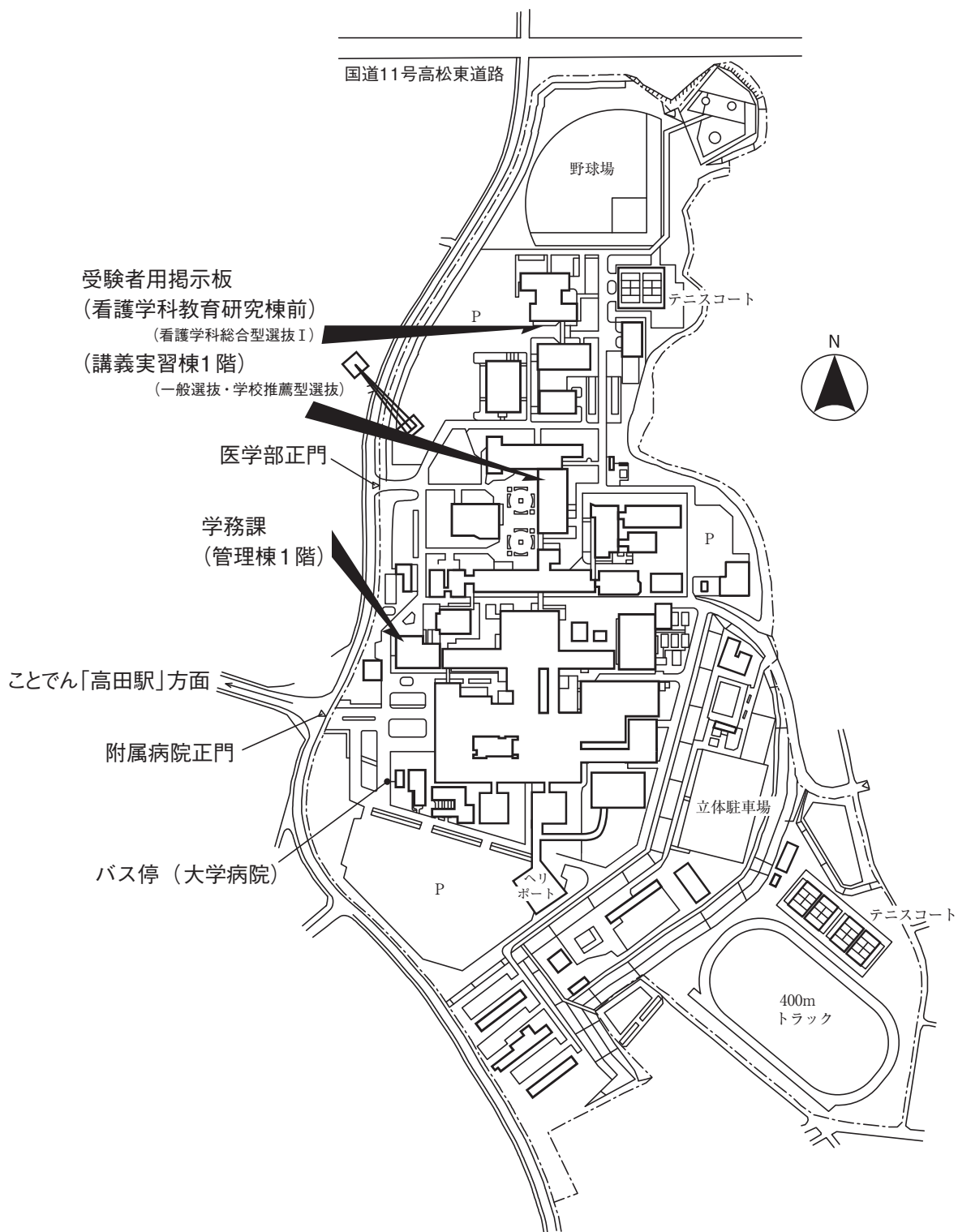
林町キャンパス（創造工学部）



三木町農学部キャンパス（農学部）



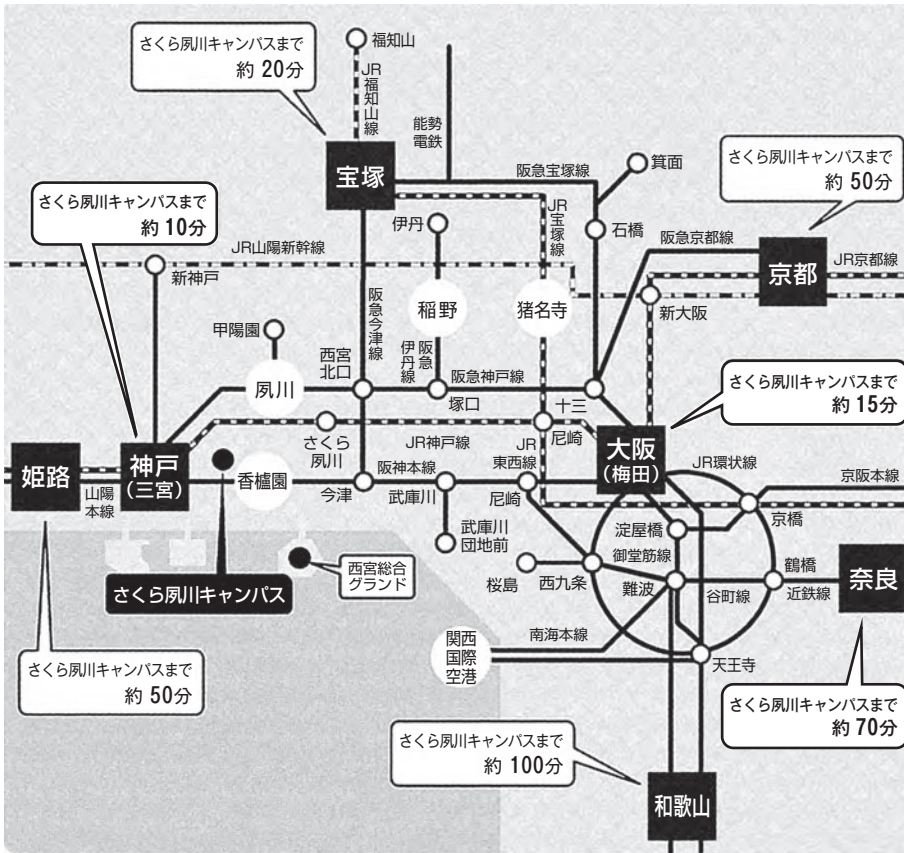
三木町医学部キャンパス（医学部）



香川大学関西地区試験場案内図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

広域アクセスマップ



さくら夙川キャンパス 最寄り駅までの所要時間

- ・大阪（梅田）から15分
- ・神戸（三宮）から10分
- ・京都から50分
- ・宝塚から20分
- ・姫路から50分
- ・奈良から70分
- ・和歌山から100分

※時間帯や乗り継ぎ等により異なる場合があります。

さくら夙川キャンパス

〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42

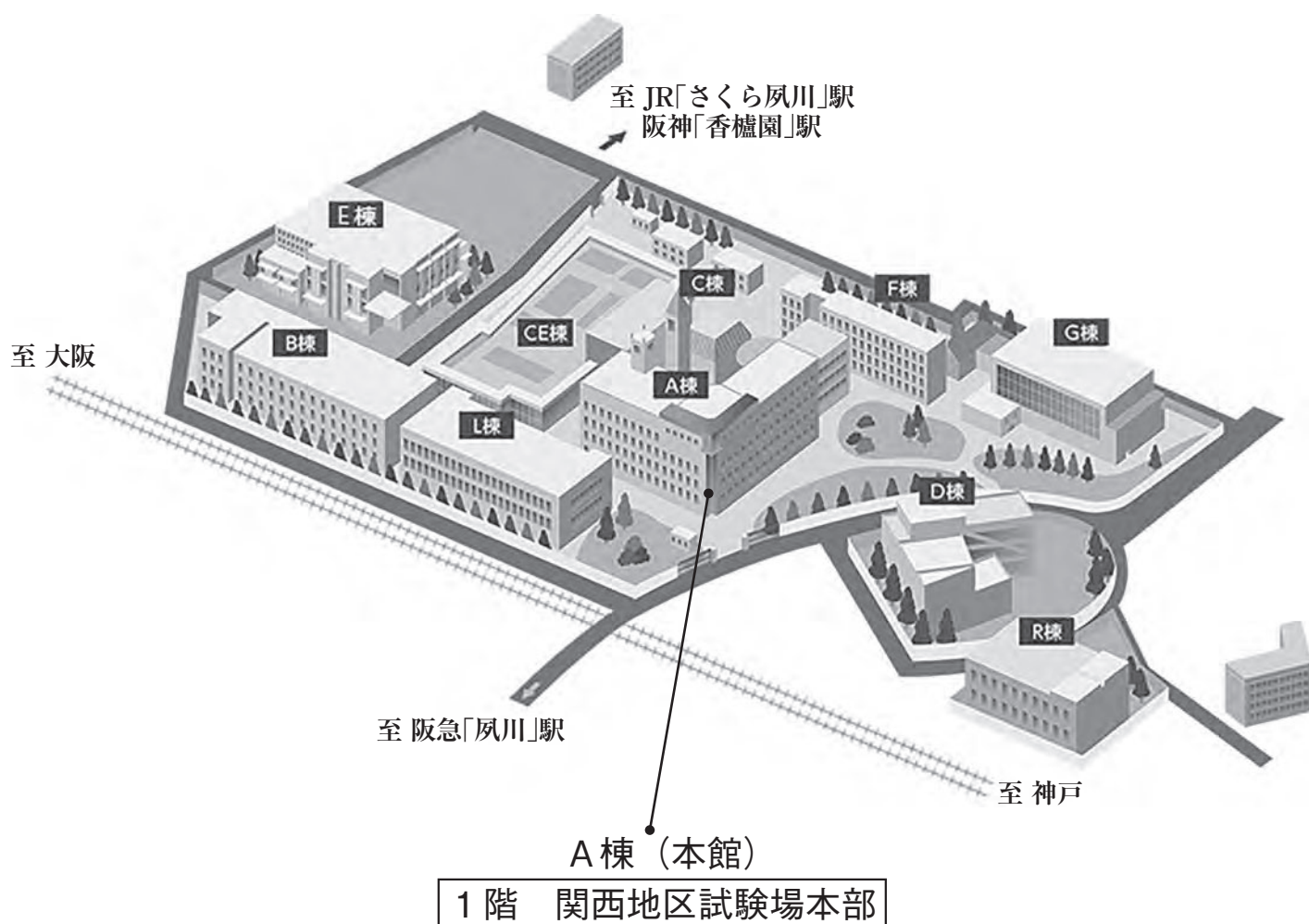


- ・JRさくら夙川駅から徒歩7分
- ・阪急夙川駅から徒歩7分
- ・阪神香櫨園駅から徒歩7分

香川大学関西地区試験場建物配置図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

キャンパス地図



お 知 ら せ

オープンキャンパス2021（開催予定）

詳細は決まり次第、香川大学のホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）にてお知らせいたしますので、ご確認ください。

開催日	学 部	会 場
8月5日（木）	医学部（看護学科）	各学部のキャンパス等
8月6日（金）	教育・法・経済・医（医学科、臨床心理学科）・ 創造工・農学部	

入学試験等に関する照会先

香川大学入試グループ	TEL (087) 832-1182 〒760-8521 高松市幸町1番1号
香川大学教務課学務係 (教育学部担当)	TEL (087) 832-1428 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学教務課学務第一係 (法学部担当)	TEL (087) 832-1806 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学教務課学務第二係 (経済学部担当)	TEL (087) 832-1813 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学医学部学務課 大学院・入学試験係	TEL (087) 891-2074 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750番地1
香川大学創造工学部学務係	TEL (087) 864-2015 〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	TEL (087) 891-3015 〒761-0795 木田郡三木町大字池戸2393番地

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

インターネット出願の操作方法に関する照会先

四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター

TEL (075) 211-6556

コールセンターの開設期間は、各入試の学生募集要項を確認してください。